

事 業 概 要

令和7年度版



東京都立図書館

令和7年7月

事業概要 令和7年度版 目次

I 組織概要	
1 東京都立図書館運営方針	1
2 東京都立図書館運営組織図	3
3 東京都立図書館事務分掌	4
II 主要事業	
1 令和7年度 主要事業	5
2 令和6年度 主要事業報告	6
III 予算・決算	
1 令和7年度 予算	9
2 令和6年度 決算	10
IV 統計資料（令和7年3月31日現在）	
1 所蔵状況	11
2 オンラインデータベース・電子書籍の導入状況	12
3 図書館資料収集・整理統計	13
4 利用統計資料（令和6年度実績）	14
(1) 利用状況	14
(2) 登録利用者数	15
(3) レファレンス件数	15
(4) 書庫内資料利用冊数	16
(5) 情報リテラシー支援件数	16
(6) 政策立案支援サービス件数	16
(7) 特別文庫室利用状況	17
(8) 音声・映像資料利用状況	17
(9) 視覚障害者等サービス状況	17
(10) 協力貸出状況	17
(11) 多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数	18
(12) ホームページ利用状況	18
(13) チャットボット「都立図書館利用案内 Q&A」利用状況	18
(14) 多摩図書館 セミナールーム使用状況	18
V 事業実績（令和6年度）	
1 展示等の事業（展示・講演会等）	19
2 区市町村立図書館職員等への研修等	24
3 学校教育活動への支援事業	26
4 職員研修等	28
5 刊行物及びホームページでの情報提供	29
VI 所蔵コレクションの紹介	
1 中央図書館	30
(1) 特別文庫室資料 (2) 東京資料 (3) 海外資料	
2 多摩図書館	32
(1) 山本有三文庫 (2) 雑誌創刊号コレクション (3) 児童・青少年資料	
VII 東京都立図書館協議会	33
VIII 資料	
1 東京都立図書館館則	36
2 東京都立図書館沿革	39
3 図書館関係団体・組織一覧	43
4 東京都立図書館ネットワーク概念図	44
5 東京都立図書館シンボルマーク	45
6 ホームページ及びソーシャルメディア	45
7 フロア概要	46
(1) 中央図書館	46
(2) 多摩図書館	49
8 案内図	51

I 組織概要

1 東京都立図書館運営方針

平成 14 年 4 月 1 日

一部改正 平成 18 年 5 月 22 日

一部改正 平成 21 年 3 月 25 日付 20 中図管企第 445 号

東京都立図書館（中央図書館及び多摩図書館をいう。以下「都立図書館」という。）は、情報通信技術が飛躍的に進展する 21 世紀にふさわしい、広域的・総合的情報拠点として、首都東京の中核的公立図書館の役割を担い、図書館資料及び図書館内外の情報の整備・充実に努め、都民及び利用者に対し、等しく良質な図書館サービスを提供することにより、東京の社会、経済、産業、教育、文化等の発展に貢献する。

また、都立図書館は、区市町村立図書館との役割分担のもとに、都内公立図書館、学校及び同種施設等と連携協力し支援を図ることにより、東京の図書館サービス全体の向上に寄与する。

これらを目的として、都立図書館の運営及びサービスに関する事業の方針を定める。

【基本方針】

- 1 都立図書館は、中央図書館を統括機能の有する中心館とし、多摩図書館を合わせて一体的な運営を行うとともに、各館が機能及びサービスを分担する。
- 2 都立図書館は、図書館サービス指標を設け、効率性、効果性、迅速性等の経営的視点を重視した運営及び事業を展開する。
- 3 都立図書館は、来館者、非来館者を問わず、都民及び利用者が高度・高品質な情報サービスを享受できるようサービス提供環境を整備し、利用者の多様な学習活動や調査研究活動を支援する。
- 4 都立図書館は、資料の継続的、網羅的な収集を行うとともに、適切な資料管理を行い、将来にわたる利用のため図書館資料の長期的保存を図る。
- 5 都立図書館は、都内公立図書館や学校等への協力支援を行うとともに、都内公立図書館の相互協力ネットワーク化を促進する。
- 6 都立図書館は、図書館未整備地域に対し、補完サービスを行う。

【具体的方針】

（運営全般に関すること）

- 1 事業の実施に当たっては、本運営方針に則り、必要な要綱、基準等を定めるほか、各年度毎に主要事業計画を定める等計画的な運営を図る。

- 2 運営及びサービスの実施に当たっては、都民及び利用者のニーズ把握に努めるとともに、自己評価や経営指標等の手法を取り入れ、事業について不断の見直し、改善を図る。
- 3 事業執行に当たっては、必要に応じて、専門委員会、プロジェクトチームを設置し、迅速かつ柔軟な実施を図る。
- 4 都立図書館の職員に対し、専門性を高め、サービス向上を図るために必要な研修を行う。また、職員の資質と能力の向上を図るため他団体への派遣等の機会を設ける。
- 5 図書館サービスの普及と利用の啓発を図るために、情報通信技術等を活用し、都民、図書館及びその他関係諸機関に対し、積極的な広報、PR 活動を行う。

(情報サービスに関すること)

- 6 紙媒体資料とともに図書館内外の電子媒体情報等を整備し、広範で、多様な情報サービスを迅速かつ的確に提供する。
- 7 電子図書館の実現に取り組むとともに、情報通信技術の進展と都民の生活行動様式の変化に対応し、利便性の高い図書館サービスの展開を図る。
- 8 図書館利用支援サービスを充実させ、都民の情報リテラシー支援を図る。
- 9 視覚障害者、聴覚障害者、高齢者及び外国人等にも配慮した利用環境の整備を図る。
- 10 子供をはじめとする読書活動推進のための事業を行うとともに、都内公立学校等と連携して、学校教育に対する協力事業や地域の教育力を高める図書館サービスの支援を図る。
- 11 都の政策立案や実施に対して積極的に支援する。
- 12 社会活動や経済、産業活動等の活性化を支援する情報サービスを行う。

(資料管理に関すること)

- 13 図書館資料は、原則として1資料1点を収集し、将来にわたる利用のため長期的保存を図る。
- 14 書庫は、計画的に管理し、収集、保存、除架、再活用を適切に行うとともに、新たな媒体変換等による情報の長期的保存についても検討する。
- 15 一般には入手困難な専門書や行政資料等の積極的な収集を図る。

(協力支援に関すること)

- 16 都内公立図書館に対し、協力レファレンス、協力貸出、研修等多様な協力事業の展開を図るとともに、区市町村相互間の協力体制の整備を支援する。
- 17 東京都関係機関の図書館及び各種図書館等との連携、相互協力の構築を推進する。また、図書館関係団体等との連絡調整を行い、図書館サービスの発展向上を図る。
- 18 図書館未整備地域からの要望に応じ、資料や情報の提供を行う。

附 則

(施行期日)

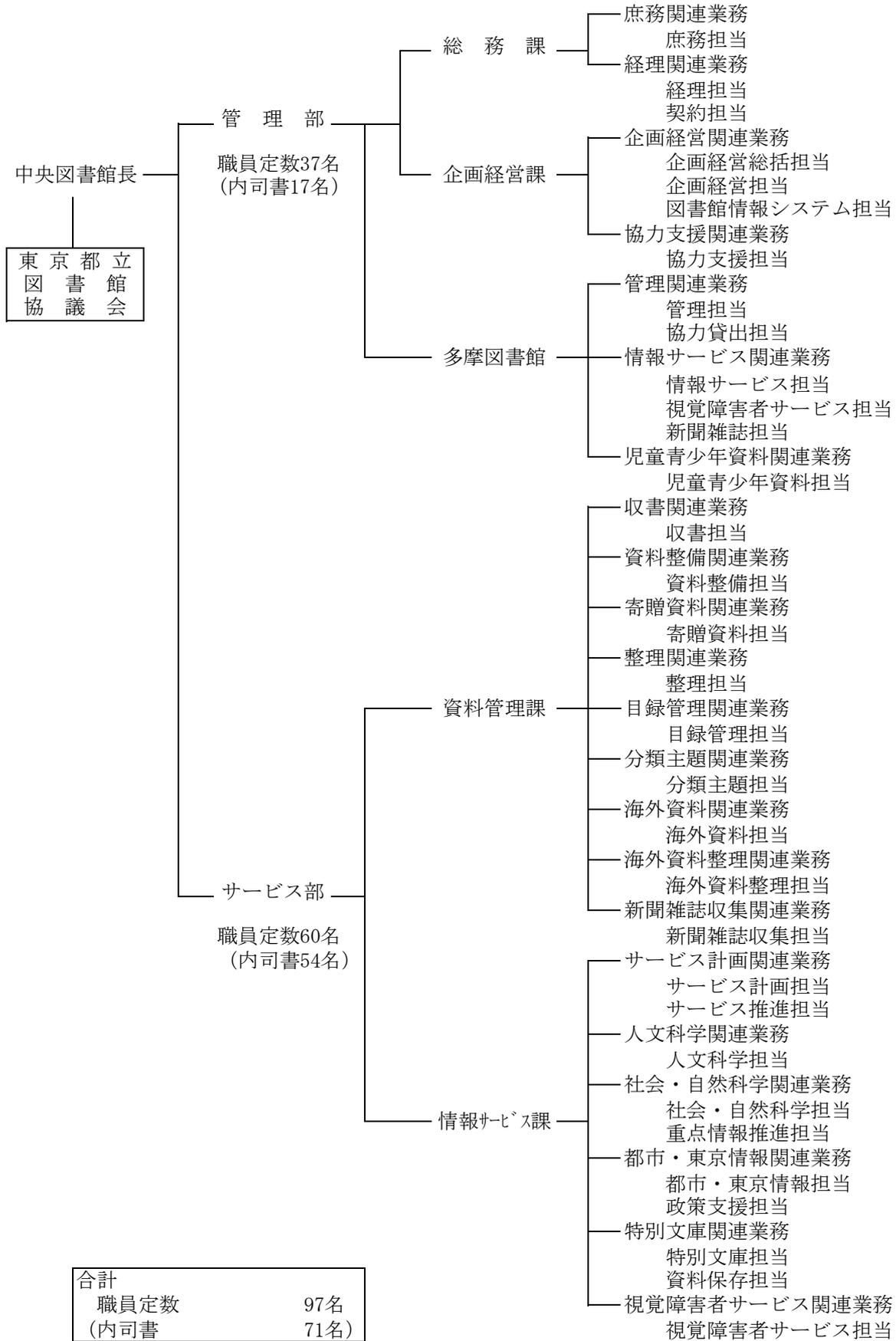
- 1 この方針は、平成14年4月1日から施行する。
(東京都立中央図書館運営方針の廃止)
- 2 「東京都立中央図書館運営方針(47日図発第234号)」は廃止する。
(東京都立多摩図書館運営方針の廃止)
- 3 「東京都立多摩図書館運営方針(61教社計多第111号)」は廃止する。

附 則

この方針は、平成21年4月1日から施行する。

2 東京都立図書館運営組織図

(令和7年4月1日現在)



3 東京都立図書館事務分掌

担当部署		業務内容
管理部	総務課	中央図書館及び多摩図書館（以下都立図書館）の公文書に関する統括 中央図書館の公文書の管理
		都立図書館所属職員の人事・給与（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の予算・決算・会計（他の課等において処理するものを除く）
		多摩図書館の統括・連絡・調整
		中央図書館の施設及び設備の維持管理
		中央図書館の館内の取締り
		中央図書館内他の部課に属さないこと
	企画経営課	都立図書館の企画・経営計画の策定・運営の統括
		都立図書館の広報・統計・調査の統括、中央図書館の広報・統計及び調査
		東京都立図書館協議会に関すること
		都立図書館の情報通信技術活用の推進に関すること
		図書館情報システムの運営
		都内公立図書館・その他の図書館等、都内公立学校等に対する協力支援
		図書館に関する関係機関・関係団体等との連絡調整
	図書館未整備地域に対する補完サービスに関すること	
	多摩図書館	都立図書館の館報等の編集及び発行
		図書館職員等の研修
		海外の図書館等との交流に関すること
多摩図書館の庶務		
多摩図書館の公文書の管理		
多摩図書館の広報・統計・調査		
多摩図書館のサービス計画に関すること		
多摩図書館の図書館資料の選定・収集・整理・保存		
多摩図書館の図書館資料の利用に関すること		
雑誌・児童資料・青少年資料等に係る都内公立図書館等への協力支援		
多摩図書館の図書館資料の情報サービスに関すること		
多摩図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること		
多摩図書館の図書資料等の複写に関すること		
東京都立図書館条例別表に掲げる施設及び附帯設備の貸出しに関すること		
都内公立図書館等その他視聴覚関係機関に対する視聴覚資料に係る館外貸出し		
多摩図書館の利用案内に関すること		
多摩図書館の施設及び設備の維持管理		
多摩図書館の館内の取締り		
サービス部	資料管理課	都立図書館の資料管理計画に関すること
		都立図書館の資料管理に関すること
		都立図書館の図書館資料の選定・収集（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の図書館資料の整理基準に関すること
		都立図書館の図書館資料の整理・保存（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の図書館資料の製本等、資料保全に関すること （他の課等において処理するものを除く）
		部内他の課に属さないこと
	情報サービス課	都立図書館の情報サービス計画に関すること
		中央図書館の図書館資料・機材の利用に関すること
		中央図書館の図書館資料に係る情報サービス及び都内公立図書館等に対する情報サービスに関すること
		中央図書館の特別文庫室の資料の選定・収集・整理・保存
		中央図書館の都市・東京情報サービスに係る資料及び視聴覚資料の選定・収集・整理・保存
		東京都の政策立案支援に係る情報サービスに関すること
		中央図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること
		中央図書館の図書資料（視聴覚資料を除く）等の複写に関すること
中央図書館の利用案内に関すること		

Ⅱ 主要事業

1 令和7年度 主要事業

「都立図書館実行プラン 2024-2026 誰もが利用しなくなる図書館の実現に向けて」（令和6年2月）に基づき、以下の3本の事項を柱として定め、各施策を展開する。3か年計画の2年目である令和7年度は、以下の事業に重点的に取り組む。

(1) 首都東京の図書館として、社会の変化や技術の進展に対応した機能の整備・拡充に努め、東京情報を始めとする知の集積・発信を推進する。

- ア 東京情報の集積・発信
- イ 東京に集う外国人へのサービス推進
- ウ デジタル資料の利用における都内公立図書館への導入支援
- エ 図書館情報システム機器更新に向けたアセスメントの実施
- オ 新たな時代を見据えた人材育成の展開
- カ 館内施設の整備・活用促進

【具体的な取組】

東京の社会課題等をテーマにした講座・セミナーの充実、東京に関する音声・映像資料の方針策定、世界陸上・デフリンピックに向けた資料収集の充実、東京に集う外国人（在住・在勤・在学）へのサービス推進、外国語電子書籍の提供、デジタル資料の利用における都内公立図書館への支援、各分野における専門的資質の向上、働きやすい職場空間整備 等

(2) 誰もが使いやすいサービスの実現に向けて、最新技術を活用し、アクセシビリティを向上させる。

- ア 複写サービスの改善に向けた検討
- イ ユニバーサルコミュニケーションの推進
- ウ 図書館利用に障害のある人々へのサービスの拡充
- エ 区市町村立図書館職員向け研修のオンデマンド配信

【具体的な取組】

インターネットによる図書館資料複写送信サービス（公衆送信サービス）の実施、ユニバーサルコミュニケーション技術の活用、都立図書館ホームページリニューアルの検討、やさしい日本語のコーナー（仮称）の設置、オンライン音訳サービスの推進、視覚障害者等用テキストデータの製作と提供、オンデマンド配信による区市町村立図書館への支援拡充 等

(3) 図書館に集積した知と、リアルな場としての機能を活かし、多様な人々との交流の機会を提供するとともに、学びや知的活動を支援する。

- ア 場としての機能を活かした事業の展開
- イ 学校等への支援拡充

【具体的な取組】

参加型・体験型事業の拡充、各関係機関と連携したセミナー等の実施、東京マガジンバンクの雑誌を媒介とした学びの支援の充実、学校図書館支援センター機能の充実、都立特別支援学校への支援の充実、子供の読書・区市町村支援事業の実施、学校支援プログラムの改善 等

《共通の施策》 多様な人々に図書館の取組が伝わる広報の充実

【具体的な取組】

SNSの戦略的活用、動画発信による都立図書館の紹介、やさしい日本語による広報 等

《先進的取組の実現に向けた技術的・制度的課題の整理》

【具体的な検討事項】

Webフォームの全庁共同電子申請基盤への移行、レファレンスサービスに係るAI活用の検討 等

2 令和6年度 主要事業報告

- (1) 首都東京の図書館として、社会の変化や技術の進展に対応した機能の整備・拡充に努め、東京情報を始めとする知の集積・発信を推進する。

ア 東京情報の集積・発信

都民や都政の課題、東京の社会課題の解決支援に資するテーマとして、「防災」を取り上げた公開講座を開催した。

過去の東京の姿を伝える貴重な映像記録の保存と長期的活用を図るため、16ミリ映画フィルムの媒体変換計画に沿って、中央図書館及び多摩図書館が所蔵するフィルムからDVDへの媒体変換を行った。

令和7年度に開催される世界陸上競技大会及びデフリンピック大会に向けて、陸上競技を始めとするスポーツ全般に関する資料、障害者スポーツや聴覚障害者への理解を深めるための資料を積極的に選定し、収集を行った。

イ 東京に集う外国人へのサービス推進

中央図書館では、1階中央ホールの「話題の洋書コーナー」において、書評誌等で取り上げられた海外の「話題の本」や日本の伝統・文化、観光情報を紹介する「Books on Japan」等を配架し、2～3か月ごとにテーマを変えてミニ展示を行った。

やさしい日本語による館内掲示物の更新を行い、非英語圏出身の外国人利用者にも利用しやすい環境づくりに取り組んだ。

東京都つながり創生財団との連携に取り組み、財団のポータルサイトでの情報発信を行うとともに、都立図書館ホームページ内に「多文化共生」のページを新設し、やさしい日本語による情報発信に取り組んだ。

日本語や英語以外の言語の電子書籍について情報収集を行い、スペイン語、フランス語のコンテンツを導入、利用に供した。

ウ デジタル資料の利用における都内公立図書館への導入支援

区市町村図書館向けのメールマガジン等で、都立図書館電子書籍や新規コンテンツについて広報を行った。

エ 新たな時代を見据えた人材育成の展開

都立図書館の情報サービスを支え、直面する課題の解決に取り組む専門職員等の育成を目指し、令和5年度に策定した東京都立図書館司書職員育成基本方針（第二次）を踏まえたOJTや館内研修、派遣研修等に取り組んだ。司書の専門的資質及びデジタルスキルの向上に留意するとともに、派遣研修の受講成果を課横断的に還元する仕組みづくりに着手した。なお、主任級司書職員の育成の一環として実施する、国立国会図書館との人事交流は4年目となった。

オ 館内施設の整備・活用促進

中央図書館では、令和6年4月から11月にかけて、高圧受電設備の更新工事を実施した。また、令和6年9月から令和7年2月にかけて、講堂（4階多目的ホール）・食堂・厨房（5階）系統の空調設備の改修工事を実施し、利用者の安全確保及び施設の機能確保を図った。

- (2) 誰もが使いやすいサービスの実現に向けて、最新技術を活用し、アクセシビリティを向上させる。

ア 複写サービスの改善に向けた検討

改正著作権法に基づく図書館資料の複写送信（公衆送信）サービスの開始に向け、検討を進めた。図書館情報システムの一部改修と電子申請システム（LoGo フォーム）を活用することを基本とし、受付からファイル送信（複写物の提供）までの事務フローを検討した。従来の郵送複写も共通のフローで処理することができるよう、検討、整備を進めた。令和6年7月及び9月に、都立図書館職員及び委託業者スタッフ向け研修を行った。

※サービス開始は、令和7年度中の予定

イ ユニバーサルコミュニケーションの推進

母語とする言語や障害の有無等にかかわらず利用者に必要な情報を届けるため、多言語自動翻訳や音声テキスト変換の機能を持つ「透明ディスプレイ」を、令和6年6月に中央図書館に2台、多摩図書館に1台導入した。両館での利用者対応や中央図書館の「手話でめぐる図書館バックヤードツアー」で活用した。

現行の都立図書館ホームページに AI 自動翻訳機能を導入し、令和7年度から活用できるようにした。

中央図書館・多摩図書館のデジタルサイネージのコンテンツについて、英語・中国語・韓国語による多言語化を実施した。

ウ 図書館利用に障害のある人々へのサービスの拡充

中央図書館では、利用者の利便性向上のため、オンライン会議ツール Zoom（ズーム）を使用したオンライン音訳サービスを実施した。令和5年7月に試行を開始し、令和6年8月以降は本格実施としてサービスを提供した。来館による対面音訳サービスと合わせた利用時間は1年間に約1,000時間前後で、その割合は来館とオンラインでおおよそ7：3である。

また、中央図書館では、従来の録音資料、点字資料に加え、より速く作製できるテキストデータを利用者に提供した。令和2年度から試験的に製作を開始し、令和6年度からは、AI を利用したクラウドのOCR ソフトの導入等により、製作可能数が大幅に増加した。

エ 区市町村立図書館職員向け研修のオンデマンド配信

区市町村立図書館職員向けの研修について、遠隔地など対面研修の参加が難しい職員の利便性を高めるため、リアルで行った研修の動画を作成し、オンデマンド配信する取組を進めている。令和6年度はレファレンス研修の「新聞情報」「ビジネス情報」を配信した。また、製本研修で行っている「資料保存」「資料修復」「資料防災」の動画を作成した。

(3) 図書館に集積した知と、リアルな場としての機能を活かし、多様な人々との交流の機会を提供するとともに、学びや知的活動を支援する。

ア 場としての機能を活かした事業の展開

中央図書館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年以降中止していた「謎解きイベント」を令和7年2月21日から3月20日まで実施した。また、「都立中央図書館ボードゲーム DAY」を2回開催し、本や言葉をモチーフにしたボードゲームの大会を行うことで、利用者同士の交流の場を提供しつつ、中央図書館の認知度向上を図った。

重点的情報サービス（ビジネス、法律、健康・医療）に係るテーマの関係機関が主催するセミナーや相談会といったイベントへの協力及びイベントに関連したミニ展示等を実施した。多様な関係機関と連携し、個別相談会や少人数制のセミナーを中心に、利用者が主体的に参加し、利用者個々の課題解決にきめ細かく対応できるような取組となるよう、工夫した。

東京都港区が主催するエコライフ・フェア MINATO2024 に出展した際は、所蔵資料を出典としたクイズを出題し、環境問題について考える機会を提供すると同時に、館内でのスタンプラリーを実施し、図書館への来館を促す体験型事業を展開した。

多摩図書館では、東京マガジンバンクの所蔵雑誌を活用した食をテーマとする企画展示や、データベース等で雑誌記事検索方法を紹介するショートセミナーを実施した。企画展示やミニ展示では内容に関連した利用者参加型企画を実施し、資料の利用促進を図った。

東京マガジンバンクカレッジ事業として、上半期にはファッション誌をテーマとする講演会を、下半期には大学生等による雑誌研究・雑誌制作の発表会を、個人・団体パートナーと協働して開催した。

また、小学生を対象に体験型のイベントを実施した。夏の自由研究講座では、参加者が自ら館内を巡り、図書館が所蔵するバリアフリー図書や図書館設備のバリアフリーを学ぶことができる謎解きクイズラリーを行った。冬は、参加者がステンドグラスを制作し、それらを用いておはなし会の会場を作り、明かりの灯る中でお話を楽しんだ。

こどものへやのミニ展示は、来館利用者が一層資料や図書館に興味を持てるよう、利用者によるイラストや装飾品の提供、図書を活用したクイズを取り入れる等工夫をして行った。

イ 学校等への支援拡充

子供の読書活動推進のため、学校図書館との連携・支援及び人材育成をさらに進める取組を行った。平成30年度に策定した「学校支援サービスの考え方」及び「申込制プログラム」について、昨今の状況を踏まえ、見直しを図った。あわせて、学校支援サービスを紹介するリーフレットの改訂を実施した。

中央図書館では、令和6年3月に発行した『都立中央図書館で学ぶ！はじめてのレポート・論文作成ガイド』（改訂2版）を元に、HTML版を修正し、公開した。

多摩図書館では、特別な配慮を必要とする子供の読書環境整備の推進に寄与するため、都立特別支援学校への図書セット貸出を試行した。また、区市町村立図書館における人材育成を支援するため、既存の研修事業を見直して試行し、来年度以降の本格実施に備えた。

(4) 多様な人々に図書館の取組が伝わる広報の充実

ア 新たな手法による情報発信強化

SNS(X、Facebook)を通じて、特別文庫室所蔵資料をTOKYOアーカイブの画像とともに紹介する「貴重資料あれこれ」、司書職員ならではの目線を伝える「司書あるある」、司書職員の普段の仕事の様子や、特別整理期間の業務内容を紹介する「司書のおしごと紹介」等を発信した。

多摩図書館では、都立図書館ホームページやSNSの活用に加えて、毎月、コミュニティラジオ局「エフエムたちかわ」の情報番組に職員が生出演し、館内利用PRやイベント情報等の発信を行った。

外国人に対する広報として、やさしい日本語版パンフレット「都立図書館へようこそ」を令和7年3月に新たに発行し、日本語を母語としない方へ都立図書館のPRを行った。多摩図書館では、国分寺市をはじめとして八王子市、町田市、調布市等の多摩地域にある国際交流協会(11団体)に送付した。

イ イベント等の取り組み

都立図書館の認知度向上と利用促進のため、都立中央図書館の所在地である港区で実施する「エコライフ・フェアMINATO2024」(5月開催)、「みなと区民まつり」(10月開催)に出展した。

(5) 先進的取組の実現に向けた技術的・制度的課題の整理

ア レファレンスサービスにかかるAI活用の検討

従来のキーワード一致検索ではない自然な文や文章による資料探索を可能にするため、AIを活用した所蔵資料紹介型AIチャットボットAI ChatShelf(エーアイチャットシェルフ)の本格稼働を、令和7年3月に開始した。あわせて、AIが紹介した資料についての問い合わせなどに対応する司書とのチャット機能を開始した。

Ⅲ 予算・決算

1 令和7年度 予算

(千円)

項目	予算額			内 容
	令和7年度	令和6年度	増△減	
管理運営等	898,856 (42,336)	707,277 (40,585)	191,579 (1,751)	都立図書館の管理運営、建物維持管理及び臨時的に要する経費（図書館改修工事を含む。）
サービス事業	179,154 (11,283)	178,923 (11,553)	231 (△ 270)	館内サービス、相互協力事業、視覚障害者サービス、広報、貴重資料の電子化、都市・東京情報の発信拠点化事業等のサービスに要する経費
資料収集・整理	418,129 (7,725)	414,424 (7,433)	3,705 (292)	図書館資料の収集、整理、修理保全、蔵書目録作成等に要する経費 〔令和7年度購入計画〕 1 図 書 ・一般成人用図書 22,140 冊 (東京・重点的情報サービス・行政・郷土関係資料を含む。) ・既刊書 1,073 冊 (明治以降の欠本) ・洋書 3,830 冊 ・未成年者向図書(児童書) 3,200 冊 同上(青少年) 2,000 冊 ・中国語、韓国・朝鮮語図書 2,280 冊 ・備品図書 35 冊 合計 34,558 冊 2 逐次刊行物 ・新聞 170 種 ・雑誌 4,000 種 ・年鑑・年報 1,900 種 3 オンライン図書 33 種 4 電子書籍 373 種
電算システムの運営	188,381	13,471	174,910	図書館情報システムの管理運営及び図書館情報ネットワークの推進に要する経費
図書館協議会	1,356 (1,121)	1,866 (1,485)	△ 510 (△ 364)	委員数 12名 定例会 年3回 (令和7年度予定)
業務委託	544,108 (160,532)	504,834 (153,503)	39,274 (7,029)	都立図書館の資料出納、複写等の業務委託に要する経費
タイムリーな企画展	5,090	5,090	0	館外イベントへの出展、所蔵資料を活用した企画展示、講演会等の開催に要する経費
計	2,235,074 (222,997)	1,825,885 (214,559)	409,189 (8,438)	

(注)・予算額は年度当初の額

・予算額中の()は、給与関係費(報酬等、共済費、旅費等)で内数

2 令和6年度 決算

(円)

項目	決算規模	予算額	決算額
I 管理運営等		707,277,000 (40,585,000)	558,728,505 (39,558,117)
1 庁舎管理 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館 2 その他の運営 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館	(建物規模) 地上5階地下2階 延 23,196.21㎡ 地上3階 延 8,982㎡		
II サービス事業		178,923,000 (11,553,000)	154,503,771 (10,729,155)
1 中央図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広報 2 多摩図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広報	開館日数 326日 入館者数 280,668人 開館日数 326日 入館者数 161,190人		
III 資料収集・整理		414,424,000 (7,433,000)	391,082,122 (7,272,070)
1 図書館資料の収集 中央・多摩図書館 2 図書館資料の整理 3 修理保全 4 蔵書目録	1 図書 (1)新刊和書 20,356冊 (2)既刊書 1,346冊 (3)洋書 4,935冊 (4)中国語・韓国・朝鮮語図書 2,925冊 (5)電子資料 0枚 (6)児童書(和書)3,137冊 (7)青少年図書(和書) 2,180冊 2 逐次刊行物 (1)新聞 153種 (2)雑誌 3,624種 (3)年鑑・年報(和書) 1,330冊 (4)年鑑・年報(洋書) 172冊 3 電子資料 (1)電子書籍 426種 (2)オンラインデータベース 33種		
IV 電算システムの運営		13,471,000	11,744,542
V 図書館協議会		1,866,000 (1,485,000)	965,607 (729,358)
VI 業務委託		504,834,000 (153,503,000)	491,073,012 (153,417,123)
VII タイムリーな企画展		5,090,000	3,016,230
計		1,825,885,000 (214,559,000)	1,611,113,789 (211,705,823)

(注) ・予算額は決算時の額

・予算額・決算額中の()は、給与関係費(報酬等、共済費、旅費等)で内数

・決算額は令和7年4月末時点における速報値である。

IV 統計資料(令和7年3月31日現在)

1 所蔵状況

(1) 図書(年鑑・年報含む)

(冊)

区 分		中央図書館	多摩図書館	合 計
日 本 語 資 料	一 般 書	1,499,631	242,879	1,742,510
	総 記	62,510	7,199	69,709
	哲 学	80,653	7,169	87,822
	歴 史	206,451	13,205	219,656
	社 会 科 学	410,534	31,146	441,680
	自 然 科 学	146,187	11,257	157,444
	技 術	162,273	14,162	176,435
	産 業	111,249	6,161	117,410
	芸 術	146,043	14,369	160,412
	言 語	29,969	4,076	34,045
	文 学	143,762	134,135	277,897
	東京資料	274,880	4,754	279,634
	児童資料	0	198,243	198,243
青少年図書	0	48,605	48,605	
海 外 資 料	洋書(特別文庫除く)	197,788	35,651	233,439
	一 般 書	195,383	13,685	209,068
	東京資料	2,405	15	2,420
	児童資料	0	21,950	21,950
	青少年図書	0	1	1
	中国語図書	79,108	5,334	84,442
	一 般 書	78,575	137	78,712
	東京資料	533	1	534
	児童資料	0	5,196	5,196
	青少年図書	0	0	0
	韓国・朝鮮語図書	27,545	2,625	30,170
	一 般 書	27,125	36	27,161
	東京資料	420	2	422
児童資料	0	2,587	2,587	
青少年図書	0	0	0	
特 別 文 庫	243,765	0	243,765	
山本有三文庫	0	13,560	13,560	
計	2,322,717	551,651	2,874,368	

(注1)各館の所蔵冊数には、都立図書館収蔵庫配置資料を含む。

(注2)特別文庫所蔵資料は、原資料のみの所蔵数。

(2) 新聞雑誌所蔵状況

(タイトル)

区分	中央図書館				多摩図書館				合計		
	新聞雑誌	東京資料	特別文庫 (注1)	小計	新聞雑誌	児童青少年 資料	東京資料	小計			
新聞	日本語	継続	173	219	0	392	42	9	31	82	474
		終刊・中断	263	408	45	716	86	21	0	107	823
		小計	436	627	45	1,108	128	30	31	189	1,297
	外国語	継続	25	2	0	27	3	0	0	3	30
		終刊・中断	49	20	0	69	2	1	0	3	72
		小計	74	22	0	96	5	1	0	6	102
計	510	649	45	1,204	133	31	31	195	1,399		
雑誌	日本語	継続	1,037	530	0	1,567	4,910	167	0	5,077	6,644
		終刊・中断	2,049	1,728	255	4,032	12,785	758	0	13,543	17,575
		小計	3,086	2,258	255	5,599	17,695	925	0	18,620	24,219
	外国語	継続	48	9	0	57	359	18	0	377	434
		終刊・中断	81	11	329	421	1,288	67	0	1,355	1,776
		小計	129	20	329	478	1,647	85	0	1,732	2,210
計	3,215	2,278	584	6,077	19,342	1,010	0	20,352	26,429		
マイクロフィルム (注2)	16 (16,924)	12 (1,689)	—	28 (18,613)	16 (10,927)	3 (13)	4 (152)	23 (11,092)	—		

(注1)冊数。p.11の「特別文庫所蔵数243,765冊」の内数。

(注2)下段()は、リール数。この他、マイクロフィッシュ(児童和雑誌)1タイトル49枚を所蔵している。

(3) 音声・映像資料

区分	映画フィルム		ビデオ テープ (巻)	LD・ DVD (枚)	スライド フィルム (組)	レコード・CD ()はCDで内数 (枚)	録音 テープ (巻)	航空写真 ネガフィルム (本)
	16mm (巻)	8mm (巻)						
中央図書館	1,914	135	6,299	2,755	264	5,837 (1,789)	1,153	113
多摩図書館	9,461	—	—	—	—	—	—	—

(4) 視覚障害者等用資料

区分	録音資料		点字資料		点字雑誌・新聞		録音雑誌・新聞		テキスト データ
	録音テープ	デージー	録音テープ	デージー	録音テープ	デージー	録音テープ	デージー	
中央図書館	3,626点 26,794巻	2,664点 2,698枚	762点 3,611冊	10種 4,203冊	7種 659点	14種 667枚	39点		
多摩図書館	3,175点 17,106巻	1,674点 1,674枚	411点 1,701冊	11種 604冊	19種 4,418点	7種 397点	—		

(5) 特別文庫資料の自館製作複製資料(電子化に伴う複製物含む)

特別文庫室では、所蔵貴重資料(原資料)の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換(電子化)に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の所蔵統計とは別枠で累積数値を記載する。

区分	紙焼き	マイクロフィルム	複製写真	スチールフィルム	DVD-R(CD-R等含む)
中央図書館	66,962点	9,375巻	6,444枚	39,648枚	5,802枚

2 オンラインデータベース・電子書籍の導入状況

新聞・雑誌記事、事典類、ビジネス情報、法律情報及び健康・医療情報について、オンラインデータベースを中央・多摩の両館で導入している。

電子書籍については、経済・財政史、歴史、古典文学、ビジネス関係等の日本語コンテンツ、オリンピック関係、日本文学作品の翻訳、多読資料等の英語コンテンツを導入し、中央・多摩の両館で、専用端末により館内提供している。

(種)

区分	オンラインデータベース 導入数
無料	33
有料	1
計	34

(タイトル)

区分	電子書籍 タイトル数
日本語コンテンツ	2,345
英語コンテンツ	1,425
計	3,770

3 図書館資料収集・整理統計

都立図書館所蔵資料の収集、整理及び館内製本は、中央図書館及び多摩図書館の資料を一括して中央図書館で行っている。

(1) 図書資料受入状況

ア 新収資料 (冊)

区 分	情報サービス資料 (中央・多摩図書館)
購 入	36,381 (8,032)
受 贈	7,622 (308)
そ の 他 (自館製作目録、加除式資料等)	19 (0)
計	44,022 (8,340)

(注)年鑑年報を含む。()内は外国語資料で内数。

イ 複製資料

特別文庫室では、所蔵貴重資料(原資料)の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換(電子化)に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の受入統計とは別枠で受入数値を記載する。

(点)

特別文庫資料の 自館製作複製	104
-------------------	-----

(2) 逐次刊行物受入状況

(年鑑年報は冊数 新聞雑誌はタイトル数)

区 分	年鑑年報	新 聞		雑 誌	
		中 央	多 摩	中 央	多 摩
購 入	1,502 (172)	118 (22)	35 (2)	771 (45)	2,853 (317)
受 贈	2,757 (21)	241 (6)	47 (1)	940 (12)	2,846 (75)
計	4,259 (193)	359 (28)	82 (3)	1,711 (57)	5,699 (392)

(注)()内は外国語資料で内数

(3) 整理状況

(冊)

資料種別	和図書	海外資料	年鑑年報	計
整理冊数	30,691	7,468	4,660	42,819

(4) 製本状況

(点)

館内製本	館外製本	重要文化財 修 復	計
3,571	958	0	4,529

4 利用統計資料（令和6年度実績）

(1) 利用状況

ア 入館者数

(人)

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館 日数	月 別 入館者数	1 日 平 均	開館 日数	月 別 入館者数	1 日 平 均	
令和6年 4月	28	19,992	714	28	11,438	409	31,430
5月	29	25,439	877	29	14,072	485	39,511
6月	19	16,269	856	19	9,468	498	25,737
7月	29	23,893	824	29	14,080	486	37,973
8月	29	23,862	823	29	14,791	510	38,653
9月	28	23,471	838	28	13,792	493	37,263
10月	29	26,479	913	29	14,757	509	41,236
11月	28	25,472	910	28	15,305	547	40,777
12月	26	22,083	849	26	11,984	461	34,067
令和7年 1月	26	23,833	917	26	13,631	524	37,464
2月	26	26,216	1,008	26	15,406	593	41,622
3月	29	23,659	816	29	12,466	430	36,125
計	326	280,668	861	326	161,190	494	441,858

イ 複写枚数

(枚)

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館 日数	月 別 複写枚数	1 日 平 均	開館 日数	月 別 複写枚数	1 日 平 均	
令和6年 4月	28	70,348	2,512	28	12,133	433	82,481
5月	29	75,396	2,600	29	15,739	543	91,135
6月	19	52,954	2,787	19	10,382	546	63,336
7月	29	72,682	2,506	29	16,377	565	89,059
8月	29	85,006	2,931	29	14,673	506	99,679
9月	28	67,292	2,403	28	12,836	458	80,128
10月	29	68,528	2,363	29	14,862	512	83,390
11月	28	81,832	2,923	28	14,078	503	95,910
12月	26	74,650	2,871	26	17,004	654	91,654
令和7年 1月	26	78,927	3,036	26	12,281	472	91,208
2月	26	82,436	3,171	26	12,741	490	95,177
3月	29	71,103	2,452	29	13,515	466	84,618
計	326	881,154	2,703	326	166,621	511	1,047,775

ウ 蔵書検索数

蔵書検索は、都立図書館の所蔵資料のみを検索し、統合検索は、都内公立図書館や国会図書館等の所蔵資料も検索できる。

(件)

区 分	蔵書検索数	統合検索 利用件数
令和6年 4月	998,953	174,936
5月	1,103,595	211,148
6月	991,006	181,760
7月	1,031,459	182,646
8月	1,070,812	183,762
9月	1,002,035	212,648

(件)

区 分	蔵書検索数	統合検索 利用件数
令和6年 10月	1,098,552	253,006
11月	1,056,339	239,062
12月	1,083,359	293,670
令和7年 1月	1,111,938	258,039
2月	1,083,741	284,007
3月	1,225,932	376,232
計	12,857,721	2,850,916

(2) 登録利用者数

登録利用者は、ネット予約（資料の取置き）、Eメールレファレンス及び新着情報配信サービス等を利用することができる。（ただし、Eメールレファレンスは、登録利用者以外も利用することができる。）

(人)			(人)		
区 分	各月末現在の登録利用者数		区 分	各月末現在の登録利用者数	
令和6年 4月	6,667		令和6年 10月	9,566	
5月	7,092		11月	9,963	
6月	7,475		12月	10,398	
7月	7,947		令和7年 1月	10,896	
8月	8,397		2月	11,341	
9月	8,782		3月	11,746	

(3) レファレンス件数

レファレンスサービスは、利用者からの相談や質問に、図書館の資料や情報源を用いて回答することである。都立図書館では、カウンターや電話などで様々な質問に答えるとともに、広く参考となると思われる事例を当館蔵書検索内「レファレンス事例検索」や国立国会図書館が実施するレファレンス協同データベースで紹介している。

【掲載質問例】 回答は当館蔵書検索内「レファレンス事例検索」に掲載。

- ・商品・消費・サービスの最新のトレンドやヒット商品がわかる情報源を知りたい。
- ・エッフェル塔の設計図が掲載された資料はあるか。
- ・日本橋にある薬祖神社の祭礼について書いてある資料はあるか。
また、薬祖神社と地域とのかかわり、特に医薬品産業とのかかわりに関する資料はないか。
- ・小学校中・高学年の子供たち向けに起き上がり小法師の原理、仕組みを説明したい。参考となるようなものはないか。

ア 質問形態内訳

[都立図書館計]

(件)

区 分	中央図書館		多摩図書館		計
	総 数	1日平均	総 数	1日平均	
口 頭	18,563	57	12,290	38	30,853
電 話	19,788	61	7,408	23	27,196
ファクシミリ	1	0	0	0	1
文 書	892	3	360	1	1,252
Eメール	2,049	6	495	1	2,544
チャット	0	0	—	—	0
計	41,293	127	20,553	63	61,846

[中央図書館]

(件)

区 分	情報サービス課 4担当	特別文庫室	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1日平均
口 頭	17,198	1,249	116	18,563	326	57
電 話	16,464	307	3,017	19,788	326	61
ファクシミリ	1	0	0	1	326	0
文 書	674	30	188	892	326	3
Eメール	1,930	80	39	2,049	326	6
チャット	0	—	—	0	326	0
計	36,267	1,666	3,360	41,293	326	127

(注1)中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる簡易な対応が9,748件ある。

(注2)令和7年3月7日から、中央図書館において有人チャットによる受付開始

[多摩図書館]

(件)

区 分	情報サービス 担当	児童青少年 資料担当	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1日平均
口 頭	8,165	3,959	166	12,290	326	38
電 話	6,725	416	267	7,408	326	23
ファクシミリ	0	0	—	0	326	0
文 書	335	25	—	360	326	1
Eメール	269	105	121	495	326	1
計	15,494	4,505	554	20,553	326	63

イ 協カレファレンス件数

都内の区市町村立図書館等が利用者から受けた質問に対し自館の資料等では十分な回答が得られない場合に、都立図書館が区市町村立図書館等の求めに応じて調査及び回答を行っている。

(件)

区 分		ファクシミリ	Eメール	計
都 内 公 立 図 書 館	区立図書館	0	75	75
	多摩地区市町村立図書館	0	60	60
	島しょ図書館	0	0	0
	小計	0	135	135
その他		1	18	19
計		1	153	154

(注)「その他」は、他道府県図書館及び大学図書館等

ウ 聴覚・言語障害者レファレンス件数

(件)

区 分	中央図書館
ファクシミリ・Eメール	0

(4) 書庫内資料利用冊数

(冊)

中央図書館	
年間	168,169
1日平均	516

図書・新聞・雑誌の合計

(冊)

多 摩 図 書 館					
図 書		雑 誌		計	
うち、児童図書		うち、児童雑誌			
年間	44,875	(29,810)	124,232	(12,578)	169,107
1日平均	138	(91)	381	(39)	519

(5) 情報リテラシー支援件数

パソコンによる資料の検索やオンラインデータベースの利用の際に、システム機器の操作方法に関する支援を行っている。

(件)

中 央 図 書 館			
情報サービス課4担当	特別文庫室	視覚障害者サービス担当	計
4,707	208	70	4,985

(注)中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる情報リテラシー支援件数が14,520件ある。

多摩図書館
3,900

(6) 政策立案支援サービス件数

東京都職員が政策立案を行う際、求めに応じて必要な資料・情報の提供を行っている。

区 分	中央図書館	多摩図書館	計
レファレンス件数	1,888	190	2,078
都庁内貸出冊数	999	77	1,076
複写枚数	4,735	759	5,494

(7) 特別文庫室利用状況

中央図書館特別文庫室では、江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に所蔵し提供している。資料の提供方法は、資料の閲覧、複写（即日複写のほか、利用者による撮影や所蔵しているネガの貸出を含む。）及び資料貸出である。

ア 資料提供

開室 日数 (日)	閲覧者数 (人)		閲覧数 (冊)		複製関係						資料貸出		合計利用冊数	
	人数	1日平均	冊数	1日平均	撮影		即日複写		フィルム貸出		件数	冊数	冊数	1日平均
					件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数				
326	779	2	4,979	15	168	453	136	416	4	8	4	17	5,873	18

イ 掲載及び覆刻・翻刻

掲載		覆刻・翻刻	
件数	冊数	件数	冊数
101	242	17	63

ウ 業務用資料利用冊数

特別文庫室	
年間	冊数
年間	21,208
1日平均	65

(8) 音声・映像資料利用状況

中央図書館では、歴史・伝統技術や東京に関する記録資料を中心とした、ビデオ、レーザーディスク、CD及びDVD等を所蔵しており、音声・映像コーナーで視聴できる。

利用者数 (人)	利用点数 (点)
441	834

(9) 視覚障害者等サービス状況

登録制で、資料の対面音訳並びに、テープ・デージー資料、点訳資料及びテキストデータの作成及び貸出を行っている。

区分	登録者		対面音訳			テープ・デージー資料				
	利用者	音訳者	利用人数	音訳者数	音訳時間	受付数	テープ資料		デージー資料	
							作成数 (巻)	貸出数 (巻)	作成数 (枚)	貸出数 (枚)
中央図書館	289	82	265	349	820	20	0	143 (216)	20 (20)	3,335 (3,353)
多摩図書館	106	17	284	313	912	12	0	0 (0)	14 (14)	1,070 (1,070)

区分	点 訳				テキストデータ		
	受付数	作成数 (冊)	貸出数		受付数	作成数 (点)	貸出数 (点)
			点字 (冊)	FD (枚)			
中央図書館	6	6 (37)	97 (174)	26 (26)	22	22 (22)	28 (28)
多摩図書館	0	0 (0)	32 (32)	0 (0)	—	—	3 (3)

(注1)デージーとは、Digital Accessible Information System (デジタル録音図書)の略。

(注2)貸出数の中には、借受・貸出分も含む。

(注3)作成数の中には雑誌・新聞(テープ、デージー、点訳及びテキストデータ)は含まない。

(注4)上段はタイトル数、下段は資料の巻(冊)数を表す。

(10) 協力貸出状況

ア 都内公立図書館への貸出

区市町村立図書館が所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、東京都全体で資料の有効活用を図り都民の資料要求に応えるため、都立図書館の資料を区市町村立図書館に貸出している。

区分	図書貸出冊数	雑誌貸出冊数	合計
区立図書館	8,453	1,622	10,075
多摩地区市町村立図書館	46,185	2,966	49,151
島しょ図書館	814	17	831
計	55,452	4,605	60,057

イ 都外公立図書館との相互貸借、大学図書館等への貸出

所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、都外公立図書館との間で相互に資料の貸借を行っている。大学図書館への貸出も実施している。

区分	都外貸出		都外借入		大学図書館・その他への貸出	
	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数
中央図書館	58	68	20	20	23	29
多摩図書館	5	7	21	25	3	10
計	63	75	41	45	26	39

(11) 多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数

多摩図書館では、16ミリ映画フィルム及び映写機を、登録している団体及び島しょ地域に貸し出している。

区 分		登 録 数	貸 出			
			件 数	点 数		
16 ミ リ 映 画 フ ィ ル ム	団 体	29	123	438	本	
	特 別 団 体	8				
	うち、 長期貸出 島しょ	大島	-	12	120	本
		三宅		0	0	本
		八丈		0	0	本
		小笠原		0	0	本
	計	-	12	120	本	
映 写 機 貸 出		-	43	44	台	

(12) ホームページ利用状況

(件)

区 分	トップページ 表示回数
令和6年 4月	61,246
5月	68,501
6月	62,207
7月	72,132
8月	72,459
9月	67,472
10月	71,207
11月	64,802
12月	62,234
令和7年 1月	68,080
2月	61,180
3月	61,044
計	792,564

(13) チャットボット

「都立図書館利用案内Q&A」利用状況

(ルーム)

区 分	ルーム数
令和6年 4月	1,211
5月	1,245
6月	1,798
7月	1,111
8月	1,279
9月	1,070
10月	1,005
11月	980
12月	873
令和7年 1月	1,238
2月	1,186
3月	1,109
計	14,105

(14) 多摩図書館 セミナールーム使用状況

多摩図書館では、研修等を行うセミナールーム（定員216名。約100名の部屋に分割して使用可。）を設置し、多摩図書館での事業等に使用するほか、有料で貸し出している。

(件)

区 分	全面使用	分割使用	
		セミナールーム1	セミナールーム2
令和6年 4月	4	12	6
5月	15	6	6
6月	14	5	3
7月	17	7	3
8月	16	3	3
9月	15	7	3
10月	17	9	7
11月	7	12	11
12月	11	2	6
令和7年 1月	9	3	4
2月	5	5	7
3月	7	5	5
計	137	76	64

V 事業実績（令和6年度）

1 展示等の事業（展示・講演会等）

都立図書館の豊富な所蔵資料の魅力をPRするとともに資料の利用を促進するため、企画展示、講演会等を実施した。

(1) 展示

展示内容等		期間	会場	来場者数
イ図書館外イベント	エコライフ・フェアMINATO2024	5月18日	港区有栖川宮記念公園	30名
	みなと区民まつり	10月12日～13日	港区増上寺境内	737名
関連展示	尾木ママの本棚「スポーツ文化の未来-大谷翔平の挑戦-」	6月21日～7月21日	中央図書館 1階中央ホール*	
	尾木ママの本棚「思春期の生き方」	10月9日～11月9日	多摩図書館閲覧室*	
企画展示 中央図書館	「北里柴三郎と新しいお札の偉人たち」	7月27日～10月2日	中央図書館企画展示室	8,311名
	東京文化財ウィーク2024参加企画展「江戸城で暮らす 一中興・大興一」	10月26日～11月10日	中央図書館 企画展示室・多目的ホール	5,312名
	「情報、江戸を駆ける！ 葛屋重三郎が生きた時代の出版文化」	1月24日～5月25日	中央図書館企画展示室	16,085名
ミニ展示 話題の洋書コーナー	「KIMONO」	6月21日～9月4日	中央図書館 1階話題の洋書コーナー*	
	「Ninja & Samurai」	9月6日～12月4日		
	「Shinto」	12月6日～3月5日		
	「Spring has come 春のおとずれ」	3月7日～6月4日		
特設企画 展示	「音のない世界と“つながる” 東京2025デフリンピック大会開催555日前」（主催 東京都生活文化スポーツ局）	5月9日～5月30日	中央図書館 1階中央ホール*	
ミニ展示 世界陸上	「誰よりも速く高く遠くへ ～世界陸上の40年～」	9月6日～10月2日	中央図書館 1階中央ホール*	
アーカイブ 展示	「東京2020アーカイブ資産展示」	通年	中央図書館 都市・東京情報コーナー*	
都市・東京情報 ミニ展示 コーナー	「高尾山の多面性を深掘る」	5月3日～7月31日	中央図書館 都市・東京情報コーナー*	
	「都営バスと東京の100年」	8月2日～11月6日		
	「水害に備える 荒川放水路通水100周年」	11月8日～2月5日		
	「映画をみる街、映画を育む街、東京」	2月7日～4月30日		
ビジネス 展示 情報	「海外展開を検討する」	5月3日～6月5日	中央図書館 ビジネス情報コーナー*	
	「高校生ビジネスプラン・グランプリ」 *日本政策金融公庫との連携展示	6月21日～9月4日		
	「そうぞう力を育てる ～答えのない時代をいきぬくには～」	9月6日～11月6日		
	「世界に羽ばたく！ スタートアップ」	11月8日～1月8日		
	「2025年の経済を探る」	1月10日～3月5日		
	「極める！ マーケティング」	3月7日～4月30日		
法律情報 ミニ展示	「みんなで法学入門！」	5月3日～7月3日	中央図書館 法律情報コーナー*	
	「法学古典ことはじめ」	7月5日～9月4日		
	「相談したい・解決したい 暮らしの困りごと」	9月6日～11月6日		
	「法律を学ぶ、災害に備える。」	11月8日～1月8日		
	「法律文章術 一論理的に書くために一」	1月10日～3月5日		
	「育休・介休が変わる！」	3月7日～4月30日		
健康・医療 ミニ展示 情報	「発達障害」	5月3日～7月3日	中央図書館 健康・医療情報コーナー*	
	「難病になっても展2024」 *東京難病団体連絡協議会との連携展示	5月20日～6月10日		
	「東洋医学で心身を整える」	7月5日～9月4日		
	「温泉ときどきサウナ」	9月6日～11月6日		
	「がんになったら、仕事どうする？」 *東京都がん診療連携協議会との連携展示	11月8日～1月8日		
	「冬のスキンケア」	1月10日～3月5日		
	「科学的に鍛える」	3月7日～4月30日		

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
健康・医療 情報関係 連携 展示	「オレンジブループロジェクトin墨東」での「出張図書館」(「がんについて知る」、「緩和ケア(医療従事者向け)」等のテーマごとの展示)	9月28日～10月4日	東京都立墨東病院 医療情報室	
社会・自然 科学系 トピック 展示	「追悼 ピーター・ヒッグス氏」	4月12日～5月1日	中央図書館 社会・自然科学系資料・ 閲覧室*	
	「地球にやさしい暮らし」(エコライフ・フェアMINATO2024関連ミニ展示)	5月15日～5月30日		
人文科学系 トピック 展示	「決定! 2024年本屋大賞」	4月15日～5月1日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	
	「決定! 第171回芥川賞・直木賞」	7月18日～9月4日		
	「甲子園100年」	8月2日～9月4日		
	「追悼・松岡正剛さん」	8月28日～9月21日		
	「ノーベル文学賞受賞2024」	10月11日～11月6日		
	「追悼・谷川俊太郎さん」	11月19日～12月4日		
	「決定! 第172回芥川賞・直木賞」	1月20日～3月5日		
人文科学系 ミニ展示	「豆本」	5月3日～7月3日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	
	「Ca, c'est Paris!(サ・セ・パリ!)」	7月5日～9月4日		
	「読みやすい! 大活字本」	9月6日～11月6日		
	「染め織り蓑ね(そめおりかさね) 一和の色を楽しむ」	11月8日～1月8日		
	「昭和100年」	1月10日～3月5日		
	「三島由紀夫生誕100年」	3月7日～4月30日		
美術展 関連展示	「宇野亜喜良展」	5月3日～6月10日	中央図書館 3階美術情報コーナー*	
	「国芳の团扇絵」	6月21日～7月31日		
	「世界のビーズ」	8月2日～9月4日		
	「田名網敬一展」	9月6日～10月2日		
	「眼福～大名家旧蔵、静嘉堂茶道具の粋展」	10月4日～11月6日		
	「ポケモン×工芸 美とわざの大発見」	11月8日～12月4日		
	「さくらももこ展」	12月6日～1月8日		
	「HAPPYな日本美術」	1月10日～2月5日		
	「魂を込めた円空仏像」	2月7日～3月5日		
	「展覧会図録2024」	3月7日～4月30日		
大使館等 連携展示	「フィンランドのクラフト、伝統とウェルビーイング」展覧会(主催 フィンランドセンター)	5月8日、5月14日～6月5日	中央図書館企画展示室	1,865名
	「バルト三国現代文芸展」(主催 リトアニア大使館、ラトビア大使館、エストニア大使館)	10月4日～11月6日	中央図書館 1階話題の洋書コーナー*	
東京マガジン バンク 企画 展示	「食の雑誌展」	10月4日～12月28日	多摩図書館展示エリア	13,809名
東京マガジン バンク 展示	「FASHION MAGAZINE COLLECTION 一流の最先端」	5月3日～7月7日	多摩図書館展示エリア*	
	「受け継がれる精神 一男性ファッション誌の潮流」	5月3日～7月7日	多摩図書館展示ウォール*	
	「雑誌で応援! パリ2024」	7月8日～9月4日	多摩図書館閲覧室*	
	「魅惑のパリ 一特集号で見る街の顔」	7月8日～9月4日	多摩図書館展示ウォール*	
	「開催1年前 世界陸上&デフリンピックを知ろう!」	9月6日～10月2日	多摩図書館閲覧室*	
	「～東京モノレール開業60周年を記念して～ モノレールを楽しむ!」	9月6日～11月6日	多摩図書館閲覧室、 多摩図書館展示ウォール*	
	「雑誌と子供の本でわかる国分寺」	11月2日～12月4日	多摩図書館閲覧室*	

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
東京マガジンバンク ウオール展示	「雑誌の表紙に見る“スイーツ&コーヒー”」	11月8日～12月28日	多摩図書館展示ウォール*	
	「雑誌を作る、研究する 2025」	12月24日～2月5日	多摩図書館閲覧室*	
	「プレイバック ラジオ&テレビ ～放送100年～」	1月10日～3月5日	多摩図書館展示エリア*	
	「雑誌の表紙で振り返る“大河ドラマ”」	1月10日～3月5日	多摩図書館展示ウォール*	
	「みんなの推し雑誌」	2月22日～3月20日	多摩図書館閲覧室*	
	「Expo2025:雑誌で巡る万博のこれまでとこれから」	3月7日～5月7日	多摩図書館展示エリア*	
児童青少年資料 担当企画展示	「だれでも読めるこどもの本 ～児童書で知る読書バリアフリー～」	7月20日～9月30日	多摩図書館展示エリア	15,124 名
児童サービ ス ミニ展示	「こえにだしてよんでみよう」	5月3日～7月3日	多摩図書館児童エリア*	
	「弟の本」	7月5日～10月2日		
	「これならできる！自由研究」	7月5日～9月4日		
	「ちいさい秋、みつけた！」	9月6日～11月6日		
	「お姉ちゃんの本」	10月4日～3月31日		
	「もうすぐクリスマス」	11月8日～12月25日		
	「新年はへびの年」	12月26日～1月16日		
	「おおさむ こさむ」	12月26日～2月20日		
	「おにはそと！ふくはうち！」	1月18日～2月5日		
	「だいすき♥恋とチョコレート」	2月7日～2月28日		
	「はるらんまん」	2月22日～4月30日		
「1年生になったら」	3月1日～4月30日			
青少年サービ ス トピック展示	「脳ーあなたの頭のなかー」	4月5日～5月12日	多摩図書館青少年エリア*	
	「高校生直木賞」	6月7日～7月31日		
	「お礼があたりくなりました！」	7月6日～9月4日		
	『君の色』は何色？「白」	10月4日～10月17日		
	「ノーベル平和賞」	10月12日～10月22日		
	『君の色』は何色？「黄」	10月19日～11月1日		
	『君の色』は何色？「黒」	11月2日～11月17日		
	『君の色』は何色？「オレンジ」	11月18日～12月4日		
青少年サービ ス ミニ展示	「あたらしい場所」	4月5日～6月5日	多摩図書館青少年エリア*	
	「TAMA selection plus 約束を守れるか」	4月5日～8月7日		
	「幸せを知る」	5月3日～7月3日		
	「深海の世界」	6月7日～7月31日		
	「納涼にちょうどいい本」	7月5日～9月4日		
	「絵と文字で社会、文化をえがく」	8月2日～10月2日		
	「TAMA selection plus はじめて」	8月9日～12月4日		
	「わたしのリズムで」	9月6日～11月6日		
	「おいしい」の理屈」	11月8日～1月8日		
	「おくりもの」	12月6日～2月5日		
	「TAMA selection plus 働くひとの物語」	12月6日～4月2日		

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
ミニ展示 青少年サービス	「温活のススメ」	1月10日～3月5日	多摩図書館青少年エリア*	/
	「依存症入門」	2月7日～4月2日		
	「少ない言葉で綴られた本」	3月7日～5月1日		
青少年スポーツ展示	「羅針盤」・「羅針盤Ⅱ」	通年	多摩図書館青少年エリア*	/
	「扉をあけて」・「扉をあけてⅡ」	通年		
	「TAMA selection」	通年		
	「学習応援棚」	通年		
	「英語多読棚」	通年		
ミニ展示 児童研究書	こどもの読書週間展示「こどもと本とゆっくり向き合う」	4月23日～5月12日	多摩図書館開架書庫前*	/
	「ありがとう母の友」	3月7日～5月7日	多摩図書館展示ウォール*	
連携展示 東京都教育相談センター	東京都教育相談センター令和6年度第2回思春期サポートプレイス講習会 関連資料展示	10月19日	多摩図書館セミナールーム*	/
	東京都教育相談センター令和6年度第3回思春期サポートプレイス講習会 関連資料展示	1月26日	東京都教育相談センター*	

注*の会場は、閲覧室等の一部で展示を行っているため、来場者数の計測をしていない。

(2) 講演会等

区 分		日 程	会 場	参加者数
教育委員会主催	こどもの読書週間トークイベントin 都立多摩図書館 「読書で脳を鍛えよう！たのしい読書のすすめ」	5月11日	多摩図書館セミナールーム	111名
	朗読会・トークイベントin都立中央図書館「今、図書館から平和を考える ～『星は見ています』を語りつぐ～」	7月13日	中央図書館多目的ホール	73名
生活文化スポーツ局主催	「音のない世界と“つながる”」	5月9日	中央図書館多目的ホール	約100名
都市・東京情報 公開講座	「東京の災害に備える」	11月30日	中央図書館多目的ホール	75名
東京マガジンバンクカレッジ	講演会「元編集長が語る！ファッション誌の企画と社会とのつながり ―雑誌は時代を映す鏡―」	7月6日	多摩図書館セミナールーム	101名
	大学ゼミ発表会『「大学ゼミ×雑誌」成果発表会 2025 ～雑誌を通じて社会を知ろう～』	1月25日 (アーカイブ配信期間: 1月29日～2月9日)	Web会議ツールによる オンライン開催	当日視聴 51名 アーカイブ 配信視聴 154回
子供読書活動 推進事業	登録制乳幼児おはなし会「わらべうたの会」	5月29日、6月5日、7月10日、7月17日、9月4日、9月18日、10月2日、11月20日、12月4日、12月18日、1月15日、2月5日、2月19日、3月5日	多摩図書館	延199名
	登録制乳幼児おはなし会「ウリボウの会」	同上		延177名
	あるかもしれないおはなし会	5月14日、5月21日、5月28日、7月2日、7月23日、8月6日、8月27日、9月24日、10月8日、10月15日、11月12日、11月19日、11月26日、12月10日、12月17日、12月24日、1月7日、1月28日、2月4日、2月18日、2月25日、3月4日、3月11日、3月18日、3月25日		延101名

区分	日程	会場	参加者数
子供読書活動 推進事業	自由研究講座「たまとしょかんのなぞをとけ！なぞとき・読書バリアフリーのひみつ」	7月28日	67名
	企画展示「だれでも読めるこどもの本～児童書で知る読書バリアフリー～」ギャラリートーク	8月3日、8月7日	多摩図書館 延10名
	冬の小学生イベント「おはなしのステンドグラスをつくろう+ろうそくおはなし会」	12月21日、12月23日	68名
図書館見学ツアー	全14回 (バックヤード2回、夏休み手作りノート体験ツアー1回、夏休み図書館おしごと見学ツアー1回、図書館でたどる東京今昔ツアー2回、図書館ナイトツアー1回、手話でめぐる図書館ツアー1回、和本づくり体験1回、書庫ツアー4回、オンデマンドツアー1回)	6月25日～3月17日	中央図書館 200名
	全5回 (バックヤード4回、親子でバックヤードツアー1回)	6月27日～1月16日	多摩図書館 48名
ショートセミナー	全8回 (「有価証券報告書」が見られる！「eol」活用講座1回、リニューアルでパワーアップ！「ヨミダス」体験講座1回、没年調査ソン2回、実は知らない？都立図書館の入門講座1回、活用しよう！統計情報1回、法律情報調査「D1-Law.com」の使い方1回、調査ツールは本だけじゃない！新聞・雑誌記事の調べ方入門1回)	6月4日～3月13日	中央図書館 57名
	全9回 (スポーツ関係記事を調べる～雑誌編～1回、スポーツ関係記事を調べる～新聞編～1回、国会サーチ・国会デジタルの使い方2回、食関係記事を調べる～雑誌編～1回、食関係記事を調べる～新聞編～1回、放送に関する情報の調べ方～過去の放送内容編～1回、放送に関する情報の調べ方～日経テレコン・日経BP編～1回、女性誌の記事を調べる1回)	7月11日～3月13日	多摩図書館 23名
体験型イベント	謎解きイベント「Live-Rally(ライブラリー)-運命をつなぐ物語3」(事前申込制)	2月21日(2回)	中央図書館 186名
	謎解きイベント「Live-Rally(ライブラリー)-運命をつなぐ物語3」(自由参加)	2月22日～3月20日 (27日間)	623名
	ボードゲームDAY	7月27日 3月8日	中央図書館 多目的ホール(7月) カフェ(3月) 39名
大使館等連携講演会等	日本最大のフィンランド式かぎ針編みブランケット・ワークショップ(主催 フィンランドセンター)	5月8日	中央図書館多目的ホール 35名
	「歴史史料から解き明かすエストニア・日本関係」(主催 駐日エストニア共和国大使館)	10月13日	26名
重点的情報サービスに係る 関係機関主催の連携事業	「東京一日合同行政相談所」(主催 総務省東京行政評価事務所)	9月6日	中央図書館多目的ホール 39名
	「がんになったら、仕事どうする？」(主催 東京都がん診療連携協議会 相談・情報部会 担当者連絡会 図書館連携チーム)	11月27日	中央図書館交流ルーム 11名
	「はじめて学ぶ遺言」(主催 東京都行政書士会法教育推進特別委員会)	3月1日	21名
子供読書活動推進に係る 関係機関主催の連携事業	都立日比谷公園林床テラス体験会における読み聞かせ(主催 東京都建設局)	12月8日	日比谷公園 約60名

(3) 映画会（多摩図書館）

区 分	内 容	日 程	開催回数	参加者数
定例映画会	セントエルモ光の来訪者	6月2日	1回	34名
	おばけが登場するアニメ ①のっぺらぼう ②おばけうんどうかい ③ムーミン 消えないおばけ ④オバケちゃん	8月4日	1回	66名
	砂漠の冒険	8月15日	1回	40名
特別映画会	かもめ食堂 ※デジタル作品(借上DVDでの上映)	10月6日	1回	61名
定例映画会	動物が登場する秋にちなんだアニメ等 ①こびとといもむし ②狼森とざる森、ぬすと森 ③森のなかまたち ④さるかに	10月17日	1回	12名
	冬にちなんだアニメ等 ①手ぶくろを買いに ②だるまちゃんとうさぎちゃん ③水仙月の四日 ④チェスターのメリークリスマス	12月1日	1回	65名
	白蛇伝(長編アニメ映画)	12月19日	1回	42名
	春にちなんだアニメ等 ①くまの子ウーフ ②だるまちゃんとてんぐちゃん ③わがままな巨人	2月2日	1回	50名
	「四季を楽しむ」をテーマとしたドキュメンタリー ①上野の山 その四季 ②おぼんざい歳時記 庶民の味覚と四季 ③富士山の自然誌	2月20日	1回	51名

2 区市町村立図書館職員等への研修等

(1) 区市町村立図書館職員等への専門的研修及び講師派遣

ア 目的

区市町村立図書館職員等を対象として専門的な研修を実施することにより、都内全域の図書館サービスの向上等に寄与することを目的とする。

イ 実施形態

- ・情報サービス研修（情報サービスに関する知識・技能の向上を図る。）
- ・障害者サービス研修（通常の方法での読書が困難な利用者へのサービス提供方法の向上を図る。）
- ・製本研修（資料の基礎的な修復を通して、資料保全に関する知識・技術の向上を図る。）
- ・講師派遣（区市町村立図書館等からの依頼を受け、都立図書館職員を研修講師として派遣する。）
- ・その他（各業務及び図書館運営に必要な情報の提供並びに他自治体の職員との交流の場を提供する。）

区分	研修・見学会・担当者会名		会 場	回数	修了者数	
情報サービス研修	レファレンス研修	テーマ別研修「人物情報」	中央図書館	1回	35名	
		テーマ別研修「東京情報」		1回	29名	
		テーマ別研修「法律情報」		1回	33名	
		テーマ別研修「新聞・雑誌情報」	多摩図書館	1回	38名	
		テーマ別研修「ビジネス情報」	オンデマンド配信			
		テーマ別研修「新聞情報」				
	子供の読書に関する講座	児童図書館専門研修Ⅰ(全3日間)	多摩図書館	1回	56名	
		児童図書館専門研修Ⅱ		1回	48名	
サービス障害者	音訳者講習会	初級研修 (全6日間)	中央図書館	1回	23名	
		中級研修 (全6日間)	多摩図書館	1回	17名	
		専門研修	中央図書館	1回	91名	
	障害者サービス研修	中央図書館	1回	53名		
講師派遣	図書館主催講座「読み聞かせ講座(初級)」(5月25日)		多摩市立中央図書館(1名派遣)	1回	30名	
	障害者サービス研修(7月25日)		葛飾区立中央図書館(1名派遣)	1回	36名	
	音訳講習会(11月14日)		目黒区立八雲中央図書館(1名派遣)	1回	14名	
	令和6年度杉並区立図書館職員研修「レファレンスサービス(テーマ YA資料)」(12月5日)		杉並区立中央図書館(2名派遣)	1回	20名	
	音訳者養成講習(2月6日)		目黒区立八雲中央図書館(1名派遣)	1回	14名	
	令和6年度読み聞かせボランティア勉強会「絵本の選書について」(2月28日)		江東区立深川図書館(1名派遣)	1回	30名	
	対面朗読講習会(3月27日)		練馬区立練馬図書館(1名派遣)	1回	13名	
複製修本	資料保全(製本)研修		中央図書館	2回	42名	
その他(担当者会等)	東京都公立図書館地域資料担当者会	第1回(10月10日)	中央図書館	1回	39名	
		第2回(3月4日)		1回	41名	
	都・区市町村立図書館協力レファレンス担当者会		中央図書館	1回	38名	
			オンライン同時配信	1回	14名	
	障害者サービス事務担当者連絡会		中央図書館	1回	53名	
	児童・青少年サービス担当者会		多摩図書館	1回	60名	
	東京都図書館研究交流会	新館見学会	第1回(11月15日)	瑞穂町図書館	1回	29名
			第2回(12月12日)	荒川区立尾久図書館	1回	28名
		講演会	第1回(8月21日)	中央図書館	1回	53名
			第2回(2月25日)	中央図書館(アーカイブ配信あり)	1回	66名
	東京都公立図書館長連絡会	全体会	第1回(8月22日)	中央図書館	1回	25名
			第2回(2月18日)		1回	18名
	協力事務担当者会	第1回	5月29日	多摩図書館	1回	67名
第2回		12月4日	中央図書館	1回	66名	

(2) 関係機関等への講師派遣

区分	研 修 名	主 催 者	派遣者数	回数	受講者数
講師派遣	女性起業ゼミ「市場調査手法の紹介」(5月16日, 7月22日, 11月6日, 1月14日)	東京都中小企業振興公社	1名	4回	33名
	情報サービス論(7月9日)	駿河台大学	1名	1回	90名
	児童図書館員養成専門講座(9月27日)	公益社団法人日本図書館協会	1名	1回	11名
	令和6年度鳥取県子ども読書アドバイザー研修会兼新規養成研修会(11月9日)	鳥取県教育委員会	1名	1回	49名
	児童サービス論(11月30日)	文化学園大学	1名	1回	14名
	令和6年度全道図書館専門研修〈レファレンスサービス〉「児童サービスの実際 レファレンス」(1月24日)(オンライン実施)	北海道図書館振興協議会	1名	1回	45名
	令和6年度子どもの読書ステップアップ講座(第4回)(1月29日)	山梨県立図書館	1名	1回	53名
	市場調査(マーケティング)の強い味方!東京都立中央図書館の活用方法(3月19日)	東京都中小企業振興公社	1名	1回	94名

3 学校教育活動への支援事業

(1) 目的

「第四次東京都子供読書活動推進計画」（令和3年3月東京都教育委員会策定）等に基づく諸事業をはじめ、児童・生徒の読書活動や学習活動及び教職員の授業研究や学校図書館運営等に対する支援を実施する。

(2) 事業

ア 学校レファレンスサービス

来館、電話、Eメール及びファクシミリ等による問合せに対し、回答を行った。

(ア) レファレンス件数 68件 (中央図書館 15件、多摩図書館 53件)
(授業用参考資料並びに修学旅行及び移動教室の事前学習用資料の紹介等)

(イ) 子供の読書に関する相談 65件
(子供読書活動推進資料の活用法、資料の加工使用の許諾及び著作権や研修講師の情報等)

イ 職業インタビューの受入れ

学校からの申込みを受け、司書の仕事の説明及び館内見学を行った。

受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
宮城県多賀城市立第二中学校(3年5名)、海城中学高等学校(中学3年1名)	中央図書館	2校	6名
国分寺市立第四小学校(2年6名、3年35名、さつき学級7名)、北海道苫小牧市立明野中学校(3年6名)、八王子学園八王子高等学校(1年・2年11名)、都立武蔵台学園府中分教室(オンライン実施のため人数不明)	多摩図書館	4校	65名

ウ 職業体験・インターンシップ等の受入れ

学校からの申込みを受け、職員の指導により、資料の選定、整理、出納及び整架などの図書館の基本的な仕事を体験した。

受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
千代田区立九段中等教育学校(2年3名)、都立富士高等学校附属中学校(2年3名)、都立白鷗高等学校附属中学校(2年3名)、宝仙学園中学校(2年3名)、港区立高陵中学校(2年3名)	中央図書館	5校	15名
東京学芸大学附属国際中等教育学校(2年3名)、都立富士高等学校附属中学校(2年3名)、国分寺市立第一中学校(2年3名)、都立小平特別支援学校(高等部7名)、都立武蔵台学園(小学部6年13名)、都立神代高等学校(定時制3年1名)	多摩図書館	6校	30名

エ 校外学習の受入れ

学校からの申込みを受け、実施した。中央図書館では、主に図書館を利用した文献調査方法の説明及び館内見学を行った。多摩図書館では支援内容や参加者数に応じてセミナールームも活用し、校外学習の受入れを行った。

	受入校等	主な支援内容	実施場所	校数	参加者数
(小学校)	国分寺市立第四小学校(さつき学級)	館内見学、おはなし会	多摩図書館	1校	46名
(中学校)	利島村立利島小中学校(中学1～2年)	館内見学、図書館入門	中央図書館	1校	3名
	筑波大学附属駒場中・高等学校(中学3年)	館内見学	多摩図書館	1校	15名
(高校)	都立三田高等学校(1年)	図書館入門	中央図書館	1校	280名
	十文字中学・高等学校(高校1年)	図書館入門 レポート・論文入門	中央図書館	1校	14名
	成城学園中学校高等学校(高校3年)	図書館入門 調べ学習の受入れ	中央図書館	1校	13名
	都立田園調布高等学校(2年39名) 都立小山台高等学校(1年320名)	レポート・論文入門	中央図書館	2校	359名
	日本芸術高等学園(1年計2回)	図書館入門	多摩図書館	1校	54名
(特別支援学校)	都立武蔵台学園(中学部1年)	図書館入門 おはなし会 自由読書	多摩図書館	1校	17名
	都立小金井特別支援学校(小学部3年30名)、 都立武蔵台学園(小学部4年計2回18名)	自由読書	多摩図書館	2校	48名
	都立八王子東特別支援学校(高等部1～3年計2回)	館内見学 おはなし会 ワークショップ	多摩図書館	1校	15名
	都立武蔵台学園(小学部5年19名、6年13名)	おはなし会	多摩図書館	1校	32名

オ 出張おはなし会・選書支援・資料貸出等の支援

実施校等		主な支援内容	実施部署	校数	参加者数
(中等教育学校)	都立立川国際中等教育学校(2回、30名)	ブックトーク	多摩図書館	1校	30名
(高校)	都立世田谷泉高等学校(3回、59名) 都立世田谷総合高等学校(2回、34名) 都立福生高等学校(1回、19名) 都立瑞穂農芸高等学校(1回、8名)	読み聞かせ講座	多摩図書館	4校	120名
(特別支援学校)	都立久我山青光学園 都立石神井特別支援学校 都立白鷺特別支援学校 都立田園調布特別支援学校 都立水元小光学園 都立小金井特別支援学校 都立しいの木特別支援学校 都立立川学園 都立多摩桜の丘学園 都立調布特別支援学校 都立七生特別支援学校 都立八王子西特別支援学校 都立八王子南特別支援学校 都立町田の丘学園 都立武蔵台学園	学校図書館選書等相談会	多摩図書館	15校	-
	都立北特別支援学校 都立高島特別支援学校	図書館整備相談	多摩図書館	2校	-
	都立小金井特別支援学校(6回、182名) 都立調布特別支援学校(15回、延203名) 都立八王子西特別支援学校(30回、351名) 都立青峰学園(2回、24名) 都立武蔵台学園(1回、15名) 都立久我山青光学園(2回、20名) 都立葛飾ろう学校(1回、26名) 都立立川学園(19回、180名)	出張おはなし会	多摩図書館	8校	1,001名

カ 啓発資料・ブックリスト等の提供（多摩図書館）

「学校支援ツール」を希望する学校へ個別配布

358部

※配布した「学校支援ツール」の内容

「TAMA selection」「読み聞かせABC」「特別支援学校での読み聞かせ 増訂版」「これならできる！自由研究111枚のアイデアカード集冊子版」「読み聞かせに挑戦！中学生・高校生編」「ほん・本・ごほん」「羅針盤」「羅針盤Ⅱ」「扉をあけて」「本のよここびを子どもたちに」「子どもたちに物語の読み聞かせを」「ひとりでよめるよ」「乳幼児おはなし会ハンドブック」

キ その他生徒向け事業への職員派遣

実施校・研修主催者等	内 容	実施部署	参加者数
都立杉並総合高等学校	レポート・論文の書き方、図書館の使い方の講義(7月25日)	中央図書館	6名
都立国立高等学校	レポート・論文の書き方、図書館の使い方の講義(10月2日)	中央図書館	320名
都立小山台高等学校	レポート・論文の書き方、図書館の使い方の講義(10月9日)	中央図書館	320名
都立三田高等学校	レポート・論文の書き方、図書館の使い方の講義(12月11日)	中央図書館	280名

ク 教職員向けの研修講師等の派遣

実施校・研修主催者等	内 容	実施部署	参加者数
東京都教職員研修センター	専門性向上研修 読書活動【II】(10月3日)	多摩図書館	70名

4 職員研修等

(1) 目的

都立図書館職員を対象に、対応すべき課題等に重点を置いた実務的な研修等を実施し、職務遂行上求められる能力や専門知識・技術の習得及び向上を図ることを目的とする。

(2) 実施形態

実務研修及び派遣研修

区分	研修名	会場	回数	修了者数	
実務研修	転入職員等研修1	中央図書館	1回	20名	
	転入職員等研修2	多摩図書館	1回	18名	
	新任司書職員研修	(前期)	中央図書館	1回	3名
		(後期)	中央図書館・多摩図書館	1回	4名
	都立図書館職員研修 「レファレンスサービスのアップデート」	中央図書館 (オンライン・オンデマンド配信)	1回	94名	

区分	研修名	主催	日数	受講者数
派遣研修	新任図書館長研修	文部科学省	3日間	2名
	中堅職員ステップアップ研修Ⅱ	公益社団法人日本図書館協会	13日間	2名
	全国公共図書館研究集会サービス部門総合・経営部門	公益社団法人日本図書館協会	2日間	1名
	関東・甲信越静地区図書館地区別研修	文部科学省、神奈川県教育委員会	4日間	2名
	図書館司書専門講座	文部科学省、国立教育政策研究所	10日間	1名
	全国図書館大会 長崎大会	公益社団法人日本図書館協会	2日間	2名
	レファレンス協同データベース事業担当者研修会	国立国会図書館	1日間	1名
	レファレンス協同データベース事業フォーラム	国立国会図書館	1日間	3名
	図書館とまちづくり	公益財団法人全国市町村研修財団全国市町村国際文化研修所	3日間	1名
	医学情報サービス研究大会	医学情報サービス研究大会実行委員会	2日間	1名
	第8回JMLAコア研修	特定非営利活動法人日本医学図書館協会	オンデマンド	2名
	ビジネス・ライブラリアン講習会	ビジネス支援図書館推進協議会	5日間	1名
	レファレンス・サービス研修「経済・社会情報の調べ方―応用編―」	国立国会図書館	1日間	1名
	レファレンス・サービス研修「法令・議会・官庁資料の調べ方―応用編―」	国立国会図書館	1日間	1名
	法律図書館連絡会 基礎講座	法律図書館連絡会	1日間	1名
	児童文学連続講座	国立国会図書館国際子ども図書館	2日間	1名
	日本古典籍講習会	国文学研究資料館、国立国会図書館	4日間	1名
	西洋社会科学古典資料講習会	一橋大学社会科学古典資料センター	3日間	1名
	TOKYO漢籍SEMINAR	京都大学人文科学研究所	1日間	1名
	文化財の虫菌害・保存対策研修会	公益財団法人文化財虫菌害研究所	2日間	1名
	保存フォーラム 第35回	国立国会図書館	1日間	5名
	障害者サービス担当職員養成講座(入門)	公益社団法人日本図書館協会	2日間	2名
	特別研修「読書のバリアフリーをすすめるために」	公益財団法人伊藤忠記念財団	1日間	4名
	データサイエンティストから分析の本質を学ぶ	株式会社富士通ラーニングメディア	オンデマンド	1名
	体験型メタバース・デジタルツイン入門～ビジネス活用にむけて～	株式会社富士通ラーニングメディア	1日間	1名
	データベース基礎	株式会社富士通ラーニングメディア	オンデマンド	2名
	準デジタル・アーキビスト資格取得講座	TRC-ADEAC株式会社	1日間	1名
	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁著作権課	オンデマンド	4名※
	広報基礎講座	公益社団法人日本広報協会	オンデマンド	1名
	動画活用・ディレクション基礎講座	株式会社社宣伝会議	オンデマンド	1名
	スマートフォンで完結！社内外で使える動画撮影編集・発信講座	株式会社社宣伝会議	1日間	1名
日本出版学会春季研究発表会	日本出版学会	1日間	1名	
電流協電子図書館セミナー	一般社団法人電子出版制作・流通協議会	1日間	1名	

※対面形式による試験を含む修了者は2名（2名はオンデマンド配信による講義映像の視聴のみ）

5 刊行物及びホームページでの情報提供

(1) 刊行物一覧表（令和6年度中に発行した刊行物）

名 称	発行年月	発行部数
【中央図書館】		
事業概要 令和6年度版	令和6年7月	800部
東京都立図書館録音・点訳図書、拡大写本新作情報 No. 228～No. 233	令和6年5月 ～令和7年3月	各300部
視覚障害者サービス情報 No. 77～No. 79	令和6年6月 ～令和7年2月	各250部
【多摩図書館】		
ぶらたなす 66号	令和7年3月	100部

(2) 有償刊行物（都庁第一本庁舎3階 都民情報ルーム等で販売）

名 称	販売開始日	頒布価格	令和6年度販売部数
これならできる！自由研究 111枚のアイディアカード集 冊子版	平成26年6月5日	139円+税	46部
読み聞かせABC 集団の子供たちへの読み聞かせに 改訂版	平成31年3月28日	139円+税	653部
特別支援学校での読み聞かせ 都立多摩図書館の実践から 増訂版	令和6年3月25日	319円+税	273部

(3) 東京都立図書館ホームページの主な掲載情報

レファレンス事例データベース	都立図書館に寄せられたレファレンス事例を再構成し、キーワード等で検索することができるページ
江戸・東京デジタルミュージアム	都立図書館が所蔵する江戸・東京の資料を通じて、歴史や文化を楽しみながら学ぶことができるページ
クローズアップ都市・東京情報	都政や東京のニュースや話題をとりあげ、インターネット情報と都立図書館の資料を紹介するページ
都市・東京の記憶	都立中央図書館が所蔵する、明治期からの絵葉書や写真帖など東京関係の資料を、画像で紹介するページ
TOKYOアーカイブ	都立図書館が所蔵する江戸・東京関係のデジタル化資料及び東京都行政資料を、検索・閲覧することができるページ
こどもページ	テーマ別の本の紹介や、図書館に新しく入った児童書などを紹介する、子供向けのページ
青少年のページ	進路や仕事など将来のことを考えるのに役立つ本や、教科学習に関連する本などを紹介する、中高生世代向けのページ
東京の公立図書館情報	都内にある公立図書館で所蔵している本や資料を検索したり、所在地や行き方を調べたりすることができるページ
専門図書館ガイド	都内及び近県にある専門図書館等（特定分野の資料を所蔵する資料室や図書館）を、分野等で検索することができるページ
区市町村立図書館新聞雑誌総合目録	都内の区市町村立図書館で所蔵している新聞雑誌を検索したり、館別のタイトル一覧を見たりすることができるページ

VI 所蔵コレクションの紹介

1 中央図書館

(1) 特別文庫室資料

特別文庫室では江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に、約24万3千点(冊)を所蔵している。これらの資料は、①大正天皇即位礼に際し、東京市に下賜された10万円を基金として東京関係資料を収集した東京誌料(ア)、②第二次世界大戦中に東京都が民間の学者や蔵書家から買い上げ、疎開させることによって戦災を免れた戦時特別買上図書(イ〜ケ)、③寄託・寄贈資料など(コ〜セ)からなっている。

資料は和書、漢籍、絵図、地図、錦絵、建築図面、書簡、拓本、書画、写真など多岐にわたり、当館でしか存在が確認できない資料も多く含まれている。以下、資料の点数(冊数)には複製資料を含まない。

ア 東京誌料 約43,500点(冊)

物語・草双紙・人情本などの文学書類、長祿年代(1450年代)から大正・昭和に至るまでの地図類、武鑑、錦絵、双六類を中心として、地誌、歴史、風俗、伝記、美術、音曲、演劇、娯楽、法制、産業、経済等、あらゆる分野の東京の郷土誌料を収集している。江戸城造営の大棟梁の職にあった甲良家の「江戸城造営関係資料」646点は、昭和62年に国の重要文化財に指定されている。

イ 加賀文庫 約24,100点(冊)

加賀豊三郎氏(1872-1982)の旧蔵書で、和書、古文書、尺牘、名家手蹟等を主とする。特に1,000余点に及ぶ黄表紙並びに数百点の洒落本は、近世文学の世界では珍重されているものである。

ウ 諸橋文庫 約20,000冊

文学博士諸橋轍次氏(1883-1982)旧蔵の和漢書。経学、史書類及び集類、叢書及び類書、学者の自筆稿本及び書入本、明版及び清の印本、名家の旧蔵本及び自署本等、漢籍を主とする文庫である。

エ 河田文庫 約1,900冊

元大蔵大臣(昭和15)河田烈氏(1883-1963)の旧蔵書で、祖父河田迪齋から代々集積

された書籍である。曾祖父に当たる佐藤一齋の「愛日楼全集」56巻の写本、「言志録」の稿本、一齋自筆の日記「腹暦」22冊ほか、一齋の手写本、書入本、著作、自筆書簡等、貴重なものが多く含まれている。

オ 市村文庫 約30,200冊

市村瓊次郎氏(1864-1947)の旧蔵書で、漢籍、朝鮮図書、東洋史関係の逐次刊行書などからなり、東洋史研究者にとっては貴重なコレクションである。市村氏の出身地である茨城県の郷土資料なども含まれている。

カ 井上文庫 約24,300冊

井上哲次郎(巽軒)氏(1885-1944)旧蔵書のうちの和装本を集めた文庫である。特に哲学、宗教関係資料が多く、中国思想、日本思想、儒教はもとよりキリスト教や倫理学にまで及んでいる。漢詩文なども所蔵する。

キ 実藤文庫 約7,600冊

実藤恵秀氏(1896-1985)の旧蔵書で、清末以降の日中文化交流に関する資料の文庫である。中国人の日本旅行記、留学生を対象とした日本語の学習書、日本書の漢訳、中国雑誌の創刊号等を収蔵する。魯迅が創刊した雑誌なども含まれている。

ク 渡辺刀水旧蔵諸家書簡文庫 約8,500点

元軍人であり、人物研究者としても活躍した渡辺金造(刀水)氏(1874-1965)が、現役中から退役後にかけて収集した、近世末期から近代の各分野にわたる人物の書簡を収録する。新井白石、伊藤圭介関係書簡も含まれる。

ケ 特別買上文庫 諸家 約38,600点(冊)

戦時特別買上図書のうち、上記イ〜ク以外の30余氏の旧蔵書である。

(ア) 国書 言語・文学 約6,000冊

言語関係資料には安藤文庫(安藤正次氏旧蔵)の落合直澄旧蔵書、文学関係資料には池田文庫(池田亀鑑氏旧蔵)の伊勢物語の様々な版本や蜂屋文庫(蜂屋茂橘氏旧蔵)の草双紙類600余点がある。

(イ) 国書 総記・その他 約10,000点(冊)

岡文庫(岡千仞[鹿門]氏旧蔵)の稿本類、反町文庫(反町茂雄氏旧蔵)の仏教関係古写本、中山文庫(中山久四郎氏旧蔵)の朝鮮使節関係資料、宋戸文庫(宋戸昌氏旧蔵)の海雲楼博物雜纂ほかがある。

(ウ) 漢籍 約 20,000 冊

漢籍及び準漢籍をまとめ、四庫分類により整理されている。かつての著名な古書店文求堂の田中慶太郎・乾郎父子旧蔵資料を始めとして、中山文庫、岩垂文庫(岩垂憲徳氏旧蔵)、蜂屋文庫、横山文庫(横山健堂氏旧蔵)にも伝本の少ない資料が多い。

(エ) 拓本 約 1,600 点

「日本」の部と「中国・朝鮮」の部に分け、碑・器物等の成立年代順の目録がある。

(オ) 書画 約 1,000 点

主として、渡辺金造氏旧蔵の軸装、加賀豊三郎氏旧蔵の一枚もの、及び蜂屋茂橘氏旧蔵の扇面とからなる。いずれも副次的収集によるものと思われ、特に系統だてはないが、中には希覯なものも含まれる。

コ 近藤記念海事財団文庫 約 1,500 点

元日本郵船株式会社社長近藤廉平氏(1848-1921)の海運事業に対する功績を顕わすため設立された近藤記念海事財団が、その記念事業の一つとして設置したもので、昭和6年に当時の市立日比谷図書館に寄託された。

昭和20年に戦災で半数以上が焼失したが、現存する資料は、海運、航海、漂流記、海事史、海事行政等に関するもので、この種の研究、調査には不可欠の貴重な資料である。

サ 青淵論語文庫 約 5,800 冊

論語を愛好した渋沢栄一(青淵)氏(1840-1931)が創始した文庫で、大正12年の関東大震災でその大半を失ったが、孫の敬三氏(1896-1963)がその意志を継ぎ、収集したものである。論語を主軸とした四書類の正文・古注・朱注・注釈・擬本等を収録する。昭和38年に都立日比谷図書館に寄贈された。

シ 中山太郎収集詫状類 約 200 点

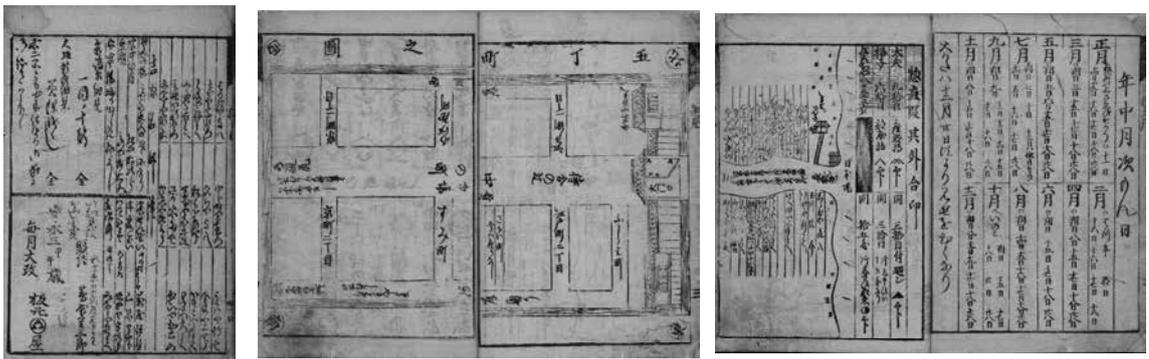
中山太郎氏(1876-1947)が収集した、正保2(1645)年から大正4(1915)年にかけての、詫状を中心とした文庫である。他に類を見ない珍しいコレクションである。

ス 木子文庫 約 29,000 点

代々内裏の作事に関わる大工であった木子家伝来の資料で、1975年に木子清忠氏(1913-1995)から寄贈された建築関係資料である。明治宮殿及び明治期洋風建築の図面類が最も多く、江戸中期以降の近畿地方の寺社、御所等の建築図、工匠他家の資料も含まれている。

セ 新収資料 約 7,800 点

戦後寄贈された資料、補完のために購入した資料等が含まれている。



『細見百夜章』 磯田湖龍齋画 鱗形屋孫兵衛 安永3(1774)年刊 1冊 加賀文庫 加422
鱗形屋版の吉原細見。刊記に「此細見改 おろし小売 取次仕候 … 蔦屋重三郎」と記されており、日本堤から大門へ至る道沿いに、蔦屋重三郎が開いた店「細見改売所つたや十三郎」が見える。

当時、吉原細見の刊行は、老舗である鱗形屋がほぼ独占していた。重三郎は、当初、鱗形屋版の改(遊女の異動等の情報とりまとめ)と卸を手掛けていたが、後には自ら版元となって吉原細見を出版し、人気を博すようになる。

(2) 東京資料

主に明治以降に刊行された江戸及び東京関係資料を包括的に収集している。都の各部局の刊行物及び区市町村の編集発行物などの行政資料を中心に、個人、出版社及び各種団体が編集発行された郷土資料など図書約 278,000 冊を所蔵している。また、都及び区市町村の広報紙をはじめとする新聞は約 640 種、雑誌は約 2,200 種がある。

「TOKYO アーカイブ」や「都市・東京の記憶」では、絵葉書、写真帖、近代の地図、東京府・東京市関係資料等、所蔵資料の一部の画像を公開している。

(3) 海外資料

利用者の調査研究活動及び教養の向上に資するため、外国語図書を幅広く所蔵している。特に言語辞典、各分野の事典等参考図書の充実を図っている。

参考図書以外では、自然科学・工学・産業の分野は概説書等が中心であるが、人文科学関係等については、日本における研究や出版の少ないもの、学術的に価値の高いもの等、専門書や研究書も収集・所蔵している。

日本に関する外国語図書、日本文学の各国語翻訳書も収集しており、蔵書において特色の一つとなっている。

ア 洋書

英語を中心に、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語及びその他の外国語で書かれた図書約 197,800 冊（中国語、韓国・朝鮮語図書を除く）がある。

在日外国人の生活に役立つ資料や他文化への理解を深める資料を所蔵している。

イ 中国語、韓国・朝鮮語図書

(ア) 中国語図書

中国、香港特別行政区及び台湾などで発行された現代中国語図書約 79,100 冊がある。

1972 年から収集を開始し、古典や現代小説などの文学や、社会科学、歴史・地理、中国医学、芸術などの幅広いジャンルにわたっている。

(イ) 韓国・朝鮮語図書

大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国両国で発行された現代書を中心とする韓国・朝鮮語図書約 27,500 冊がある。

1975 年から収集を開始し、収集分野は多岐にわたるが、なかでも韓国・朝鮮の歴史や地理、政治・経済や風俗風習、さらに伝統芸能や文学に関する資料が充実している。

2 多摩図書館

(1) 山本有三文庫

小説家、劇作家である故山本有三氏（1887-1974）の旧蔵書で、文学・国語・歴史を中心とした図書約 13,500 冊、雑誌約 300 誌がある。

(2) 雑誌創刊号コレクション

「東京マガジンバンク」では、「創刊号コレクション」として雑誌の創刊号を収集し、令和 7 年 3 月末現在約 8,700 誌を所蔵している。

創刊号は、発行年代順やジャンル別に比較し、通覧することにより、時代の流れが見えるものであり、貴重なコレクションである。

(3) 児童・青少年資料

明治以降に日本で出版された児童書（図書・雑誌）、海外で刊行された児童書、児童図書館についての研究書、青少年用図書など約 276,600 冊を所蔵している。内、中国、韓国・朝鮮語図書を中心としたアジア系諸言語の児童図書は、約 7,800 冊である。

貴重なコレクションとしては、明治期刊の「ちりめん本」といわれる日本の昔話絵本シリーズがある。これは、縮緬ちりめんのように縮れた和紙を使い、外国人向けに刊行されたものである。

また、戦前から戦後にかけて子供向けに発行された「少国民新聞」の一部を所蔵している。

青少年用資料は、調べ学習、進路選択を支援する資料を中心に、幅広い分野から厳選し所蔵している。

1 東京都立図書館協議会の概要

東京都立図書館協議会は、図書館法第 14 条及び東京都立図書館条例第 3 条に基づいて設置されている機関であり、都立中央図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて意見を述べる役割を担っている。

2 第 31 期東京都立図書館協議会について

第 31 期東京都立図書館協議会は、「都立図書館が DX を推進するための課題について」をテーマとして協議し、令和 7 年 3 月に提言をまとめた。

令和 6 年度は定例会を 4 回開催した。

3 第 31 期東京都立図書館協議会提言の概要

第 31 期提言は、第 29 期提言「都立図書館ならではのサービスを考えるー保有する情報資源の一層の活用を目指してー」、第 30 期提言「都立図書館の DX とその先にあるサービス」を踏まえ、都立図書館が今後、実際に DX を推進し、特に利用者に対してデジタル技術を活用したサービスを提供するにあたり、サービス提供に向けてどのような課題が存在するのかを整理・検討した。あわせて課題を解決するための方策などについても検討し、提言した。課題及び解決の方策などの検討にあたっては、技術の進展はもちろんのこと、個人情報保護法や著作権法など、関連の法制度などを踏まえて行った。
(以下、抜粋)

(1) 図書館が DX を推進するための課題

都立図書館ひいては図書館が DX を推進していくための課題について、第 31 期定例会での各委員からの報告に係る質疑応答に基づいて、以下の 3 つの論点でまとめた。

- ア AI
- イ 個人情報・プライバシー
- ウ 自治体 DX

(2) 課題解決の方向性

課題解決の方向性について、以下の 5 つの軸でまとめた。

都立図書館の立ち位置を踏まえた方針を記す。まずは、都立図書館には、図書館施策推進のための象徴的取組が期待されている点である。試行的なものを含めて、先駆的・先進的な取組を進め、他図書館の先導役となりたい。次に、間接的サービスプロバイダーと位置付けられる点である。直接的サービスを提供する市区町村立図書館に対し、間接的なサービスを提供することは、都立図書館の役割となる。あえてまとめるならば、都内図書館を一つにするという姿勢こそが今後、都立図書館として必須となっていくと考えられる。

ア DX 推進に係る姿勢

DX の推進は手段であり、目的は図書館の価値向上、ひいては図書館利用者の利益向上である。利用者のニーズを確認するとともに、利用者の理解を得ながら進めていくことが求められる。

イ 場を活用したサービスの展開

DX はインターネットを介したサービスだけに資するものではなく、リアル（物理空間）とデジタルテクノロジーとを融合したところに力点が置かれていくであろう。図書館サービスの利便性向上のほかに、テクノロジーに親しんだり学んだりする場を設けるなど、図書館が今後必要となる機会を提供することは、DX の時代において求められる役割・機能を発揮していくことに繋がる。

ウ 個人情報の活用

法令の遵守、プライバシーの保護、利用者の理解は前提とし、個人情報の活用により利便性の向上がもたらされる方向で進めていくことは当然である。図書館界の意識改革は不可欠であり、都立図書館には先導役としての役割が期待される。

エ 著作権法を遵守しつつ、著作物を活用する取組

パブリックドメイン資料を最大限に活用する、デジタル資料・デジタルアーカイブを充実させるといった取組を図書館は進めていくことになるが、都立図書館としては他図書館を先導するような試みを積極的に展開してもらいたい。

オ DX 推進にあたって望まれる組織的・内部的な事柄

例えば、利用可能なデータの内部的な利用（AI による学習を含む）によって、分析結果をサービス向上に活かす、迅速かつ正確な収集管理を進める、働きやすい職場空間を構築する、などといったものが挙げられる。都立図書館としては、他図書館に先駆けて試行していくことも含めて、可能・必要なところから一步進めていくことが期待される。

4 第 31 期東京都立図書館協議会委員名簿（任期 令和 5 年 7 月 1 日～令和 7 年 6 月 30 日）

氏名（五十音順）	職名（令和 7 年 3 月現在）
小黒 仁史	大田区教育委員会教育長
貝ノ瀬 滋	三鷹市教育委員会教育長（令和 6 年 6 月～令和 6 年 9 月）
坂本 真樹	電気通信大学副学長・教授
新保 史生	慶應義塾大学総合政策学部教授
竹内 道則	武蔵野市教育委員会教育長（～令和 6 年 3 月）
寺田 麻佑	一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科教授
◎野末 俊比古	青山学院大学教育人間科学部教授・学部長
野村 敦子	株式会社日本総合研究所調査部主任研究員
松永 今日子	東京都立小平高等学校校長
松永 透	三鷹市教育委員会教育長（令和 6 年 10 月～）
○松本 直樹	慶應義塾大学文学部人文社会学科図書館・情報学専攻教授
村井 麻衣子	筑波大学図書館情報メディア系准教授
山田 麗奈	公募委員（フリーアナウンサー、会社役員）
吉澤 健仁	公募委員（会社役員、地方自治体アドバイザー）

◎議長 ○副議長



令和 7 年 3 月 7 日 議長より中央図書館長に提言を手交（右より、野末議長、猪口館長）

東京都立図書館協議会答申等の沿革

期	期間	答申等年月	答申等
第 1 期	昭和 35 年 2 月 ～昭和 37 年 1 月	昭和 37 年 2 月	東京都の公共図書館総合計画 (答申)
第 2 期	昭和 37 年 2 月 ～昭和 39 年 1 月	昭和 38 年 7 月	東京都立日比谷図書館分館の建設について (意見具申)

第4期	昭和41年3月 ～昭和43年2月	昭和43年2月	都立日比谷図書館における司書職のあり方 (答申)
第6期	昭和45年4月 ～昭和47年3月	昭和46年12月	東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申 (答申)
第8期	昭和47年7月 ～昭和49年6月	昭和49年6月	東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方 (答申)
第11期	昭和55年9月 ～昭和57年9月	中間答申 昭和56年6月 最終答申 昭和57年5月	都立図書館の体系化及び近代化に関する答申 (答申)
第15期	昭和63年10月 ～平成2年10月	中間答申 平成2年3月 最終答申 平成2年10月	新日比谷図書館の機能について (答申)
第16期	平成3年1月 ～平成5年1月	平成4年12月	都立図書館の資料の保存機能について (意見具申)
第17期	平成5年4月 ～平成7年4月	平成7年3月	都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について (意見具申)
第18期	平成7年7月 ～平成9年7月	平成9年3月	21世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造 －生涯学習社会における都立図書館の役割－ (答申)
第19期	平成9年11月 ～平成11年10月	平成11年10月	児童・青少年に対して図書館は何ができるか？ －社会問題への図書館の関わり方－ (提言)
第20期	平成11年11月 ～平成13年10月	平成13年10月	高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方 －ITを活用したサービスの革新－ (提言)
第21期	平成14年4月 ～平成16年3月	平成15年3月 平成16年2月	子どもの読書活動推進をはかるために都立図書館は何をすべきか (提言1) 都内公共図書館発展のための連携協力について(提言2)
第22期	平成16年10月 ～平成18年9月	平成18年3月	調査研究図書館におけるサービスのあり方について (答申)
第23期	平成18年12月 ～平成20年11月	平成20年11月	都立図書館のサービスと図書館改革の評価について (提言)
第24期	平成21年5月 ～平成23年4月	平成23年3月	デジタル時代の都立図書館像 (提言)
第25期	平成23年5月 ～平成25年4月	平成25年3月	都民の課題解決に役立つ図書館を目指して －より質の高い図書館サービスの追求－ (提言)
第26期	平成25年5月 ～平成27年4月	平成27年3月	読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について (提言)
第27期	平成27年7月 ～平成29年6月	平成29年2月	世界都市・東京を支える情報センターを目指して －2020年とその先に向けた提言－ (提言)
第28期	平成29年7月 ～令和元年6月	平成31年3月	これからの都立図書館に必要な利用環境について －多様な学びや活動を支える機能－ (提言)
第29期	令和元年7月 ～令和3年6月	令和3年3月	都立図書館ならではのサービスを考える －保有する情報資源の一層の活用を目指して－ (提言)
第30期	令和3年7月 ～令和5年6月	令和5年3月	都立図書館のDXとその先にあるサービス (提言)
第31期	令和5年7月 ～令和7年6月	令和7年3月	都立図書館におけるDXの推進をめぐる課題と解決の方向性 (提言)

VIII 資料

1 東京都立図書館館則

(昭和62年3月20日 東京都教育委員会規則第11号)

最終改正 令和5年7月1日

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、東京都立中央図書館(以下「中央図書館」という。)及び東京都立多摩図書館(以下「多摩図書館」という。)の運営等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(図書館の運営)

第2条 図書館法(昭和25年法律第118号)の趣旨に基づき、中央図書館は、主として情報サービス、都内公立図書館その他の図書館等(以下「都内公立図書館等」という。)に対する協力支援及び図書館未整備地域に対する補完サービスを、多摩図書館は、主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する情報サービス等を行うものとする。

2 中央図書館及び多摩図書館は、中央図書館の統括の下に、相互に機能を分担し、密接な連携を図り、一体的な運営を行うものとする。

第2章 中央図書館

(事業)

第3条 中央図書館は、次の事業を行う。

- 1 図書館資料の館内利用
- 2 利用者に対する情報サービス
- 3 都内公立図書館等に対する協力支援
- 4 島しょ地域の図書館未整備地域に対する補完サービス
- 5 図書資料(図書館資料のうち視聴覚資料を除く。以下同じ。)のマイクロフィルム及び電子媒体並びに東京に関するフィルム、磁気テープ等の作製
- 6 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 7 視覚障害者その他視覚による表現の認識に障害のある者(以下「視覚障害者等」という。)に対する資料の音訳及び録音
- 8 図書資料等の複写
- 9 図書館職員等に対する研修
- 10 海外の図書館等との交流
- 11 その他中央図書館の目的達成のために必要な事業

(開館時間及び休館日)

第4条 中央図書館の開館時間及び休館日は、別表第1のとおりとする。ただし、東京都教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第5条 中央図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 中央図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(閲覧場所等)

第6条 中央図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用

できる場所は、館長が別に定める。

(視覚障害者サービス室)

第7条 視覚障害者等は、中央図書館の視覚障害者サービス室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(利用者の行う複製)

第8条 館長は、東京都立図書館(中央図書館及び多摩図書館をいう。以下同じ。)の図書館資料の複製につき特別の事情があると認める場合には、方法等を指定の上、利用者の機材により複製をさせることができる。

(協力支援に伴う貸出し)

第9条 都内公立図書館等に対する東京都立図書館の図書館資料の貸出しに関しては、館長が別に定める。

第3章 多摩図書館

(事業)

第10条 多摩図書館は、次の事業を行う。

- 1 図書館資料の館内利用
- 2 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する利用者に対する情報サービス
- 3 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する都内公立図書館等に対する協力支援
- 4 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 5 視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音
- 6 図書資料等の複写
- 7 視聴覚資料の団体に対する館外貸出し
- 8 東京都立図書館条例(昭和39年東京都条例第112号。以下「条例」という。)別表に掲げる施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の貸出し
- 9 その他多摩図書館の目的達成のために必要な事業

(開館時間及び休館日)

第11条 多摩図書館の開館時間及び休館日は、別表第一のとおりとする。ただし、教育委員会は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第12条 多摩図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 多摩図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(閲覧場所等)

第13条 多摩図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用できる場所は、館長が別に定める。

2 視覚障害者等は、多摩図書館の音訳室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(視聴覚資料の館外貸出し)

第14条 多摩図書館における視聴覚資料の団体に対する館外貸出しの手続については、館長が別に定める。

(未返還団体に対する処置)

第15条 館長は、前条の規定により貸出しを受けた団体が視聴覚資料の返還を怠り、又は督促しても返還しない場合には、以後当該団体に対し、視聴覚資料の利用

をさせないことができる。

(使用の申請)

第16条 施設等を使用しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用申請書(別記第1号様式。以下「使用申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の使用申請書の提出の期間は、使用月の前3月以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(使用の承認)

第17条 使用の承認は、申請を教育委員会が受理した順序による。

2 教育委員会は、前条第1項の規定により申請のあつた使用について承認をしたときは、東京都立多摩図書館施設等使用承認書(別記第2号様式。以下「使用承認書」という。)を交付するものとする。

3 前項に規定する使用の承認を受けた者(以下「使用者」という。)は、その使用の際に同項に規定する使用承認書を係員に提示しなければならない。

(使用時間等)

第18条 施設等の使用時間は、第11条の規定による開館時間にかかわらず、別表第2-1の項上欄に掲げる日において、同項下欄に掲げる使用単位に対応する時間とする。

2 施設等の使用ができない日(以下「使用停止日」という。)は、第11条の規定による休館日にかかわらず、別表第2-2の項のとおりとする。

3 教育委員会は、事情により前2項に定める使用時間及び使用停止日を変更し、又は臨時に使用停止日を指定することができる。

(使用料の額)

第19条 条例第8条で定める額は、別表第3のとおりとする。

(使用料の後納の申請)

第20条 条例第8条ただし書の規定により使用料を後納しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料後納申請書(別記第3号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の減額又は免除)

第21条 条例第14条の規定により使用料を減額することができる場合及びその減額の割合又は免除することができる場合は、次に定めるとおりとする。

- 1 都内の区市町村教育委員会が使用するとき 5割
- 2 都立を除く都内の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校が主催する教育活動のために使用するとき 5割
- 3 官公署(教育委員会及び都内の区市町村教育委員会を除く。)が使用するとき 2割5分
- 4 前3号に掲げる場合のほか、教育委員会が特に必要があると認めるとき 教育委員会が定める割合

2 条例第14条の規定により使用料の減額又は免除の取扱いを受けようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料減免申請書(別記第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の還付)

第22条 条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部を還付することができる場合は、条例第11条第4号又は第5号の規定により使用の承認を取り消し、

使用を制限し、又は使用の停止を命じたため、当該施設等の全部又は一部を使用することができなかつた場合とする。

2 条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部の還付を受けようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料還付申請書(別記第5号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用者の義務)

第23条 使用者は、全て館長の指示に従わなければならない。

第4章 補則

(委任)

第24条 この規則の施行について必要な事項は、東京都教育委員会教育長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、昭和62年4月1日から施行する。
(東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則の廃止)

2 東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則(昭和32年東京都教育委員会規則第27条)は、廃止する。

附 則(昭和63年教委規則第17条)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(平成3年教委規則第18条)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成14年教委規則第27条)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成16年教委規則第24条)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年教委規則第34条)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成20年教委規則第75条)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

ただし、第6条の規定は、公布の日から施行する、

附 則(平成28年教委規則第46条)

この規則は、平成28年11月1日から施行する。

附 則(令和元年教委規則第2号)

1 この規則は、令和元年7月1日から施行する。

2 この規則の施行の際、この規則による改正前の東京都教育委員会規則の様式(この規則により改正されるものに限る。)による用紙で、現に残存するものは、所要の修正を加え、なお使用することができる。

附 則(令和5年教委規則第19号)

1 この規則は、令和5年7月1日から施行する。

2 この規則の施行の際、この規則による改正前の東京都立図書館館則の様式による用紙で、現に残存するものは、所要の修正を加え、なお使用することができる。

別表第1（第4条、第11条関係）

館の名称		中央図書館及び多摩図書館
開館時間 及び休館日		
開館時間	月曜日から 金曜日まで	午前10時から午後9時まで。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、午前10時から午後5時30分まで
	土曜日及び 日曜日	午前10時から午後5時30分まで
休館日	年始	1月1日から同月3日まで
	年末	12月29日から同月31日まで
	設備等の 保守点検日	毎月1日以内
	館内整理日	毎月第一木曜日。ただし、その日が休日又は他の休館日に当たるときは、第二木曜日
	特別整理期間	1年のうち12日以内

別表第2（第18条関係）

1 使用時間

区分	使用単位
月曜日から 金曜日まで	午前、午後、夜間及び休日。ただし、その日が休日に当たるときは、午前及び午後
土曜日及び 日曜日	午前及び午後

備考 使用単位は、午前は午前9時から正午まで、午後は午後1時から午後5時まで、夜間は午後6時から午後9時まで、全日は午前9時から午後9時までとする。

2 使用停止日

区分	使用停止日
年始	1月1日から同月3日まで
年末	12月29日から同月31日まで
設備等の保守点検日	1年のうち1日

別表第3（第19条関係）

区分		使用単位	金額		
施設	セミナー ルーム	分割しないで 使用するとき。	午前	8,100円	
			午後	10,800円	
			夜間	8,100円	
			全日	27,000円	
		分割して使用 するとき。	1	午前	4,200円
				午後	5,600円
				夜間	4,200円
				全日	14,200円
	2		午前	3,800円	
			午後	5,100円	
	講師控室	1	午前	300円	
			午後	400円	
			夜間	300円	
			全日	1,000円	
2		午前	300円		
		午後	400円		
附帯 設備	音響映像操作機器	一式1回	2,900円		
	液晶モニター	一式1回	120円		
	プロジェクター	一式1回	840円		
	ワイヤレスマイクセット	一式1回	240円		

(別記様式第1号から第5号までは、掲載省略。)

2 東京都立図書館沿革

- 明治 37. 3 東京市議会で通俗図書館の設置を決議
41. 11 東京市立日比谷図書館開館
- 大正 元. 9 東京市立図書館処務規程制定
4. 3 東京市立図書館館則及び同処務規程改正、日比谷図書館を中心とする東京市立図書館体制成立（19 館）
- 昭和 6. 4 東京市立図書館処務規程改正
18. 7 都制施行、都立図書館となる。
20. 5 都立日比谷図書館空襲焼失
22. 1 都立立川図書館開館
3 都立青梅図書館開館
24. 11 都立日比谷図書館再開
25. 10 都立日比谷図書館を除く、区部の都立図書館、区へ移管
30. 1 市立八王子図書館、都へ移管
2 都立日比谷図書館、養正館へ移転
32. 10 都立日比谷図書館新館開館
36. 4 都立日比谷図書館増改築、開館
37. 2 「東京都の公共図書館総合計画 1962」（都立日比谷図書館協議会答申）
38. 7 「東京都立日比谷図書館分館の建設について」（都立日比谷図書館協議会答申）
39. 3 東京都立図書館設置条例制定
43. 2 「都立日比谷図書館における司書職のあり方」（都立日比谷図書館協議会答申）
3 都立中央図書館（仮称）建設計画策定
44. 9 「東京都立図書館の整備充実計画」策定（都立日比谷図書館）
45. 6 「図書館政策の課題と対策」（都の公共図書館振興施策）を知事に報告（図書館振興プロジェクトチーム）
46. 12 「東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申」（都立日比谷図書館協議会）
47. 3 東京都立中央図書館建設工事竣工
10 東京都立図書館設置条例一部改正（昭和 47 年 12 月 東京都立中央図書館設立）
11 「司書職制度を中心とした区立図書館振興対策」について知事に報告（図書館振興プロジェクトチーム）
12 都立江東図書館基本構想策定（図書館建設問題協議会）（東京都中期計画—1972—に組み入れる）
48. 1 都立中央図書館開館
48. 10 都立江東図書館基本計画策定（図書館建設委員会、建設調査会）
49. 6 「東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方」について（都立中央図書館協議会答申）
9 「都立多摩センター図書館（仮称）構想」中間報告（多摩三館連絡会）
51. 3 東京都立図書館設置条例一部改正、東京都立江東図書館館則制定（昭和 51 年 4 月 東京都立江東図書館設立、昭和 51 年 6 月 開館）
53. 7 「都立図書館整備の方向と対策（中間報告）」（都立図書館のあり方検討委員会）
9 「多摩地区における都立図書館の将来構想」を教育長に報告（多摩地区都立図書館将来計画検討協議会）
56. 6 「都立図書館の体系化および近代化に関する中間答申」（都立中央図書館協議会）
57. 3 「都立図書館のあり方検討委員会第二次報告」（都立図書館のあり方検討委員会）
「都立中央図書館電算システム導入に関する基本構想」策定（都立中央図書館）
5 「都立図書館の体系化および近代化に関する答申」（都立中央図書館協議会答申）
「都立多摩図書館（仮称）検討報告書」（多摩三館連絡会）
11 「東京都多摩教育センター（仮称）基本計画概要」発表（教育庁）
12 「多摩教育センター内都立多摩図書館の具体的構想と課題」（多摩三館連絡会）
59. 8 「都立図書館電算システム基本計画」策定（都立中央図書館）
60. 3 都立図書館電算システム設計開始
61. 6 東京都立図書館設置条例の一部改正（昭和 61 年 10 月 東京都立江東図書館を江東区へ移管）
62. 3 東京都立図書館設置条例改正（名称変更：東京都立図書館条例 昭和 62 年 4 月 東京都立多摩図書館設立）
5 都立多摩図書館開館
63. 3 都立図書館電算システム和図書稼働

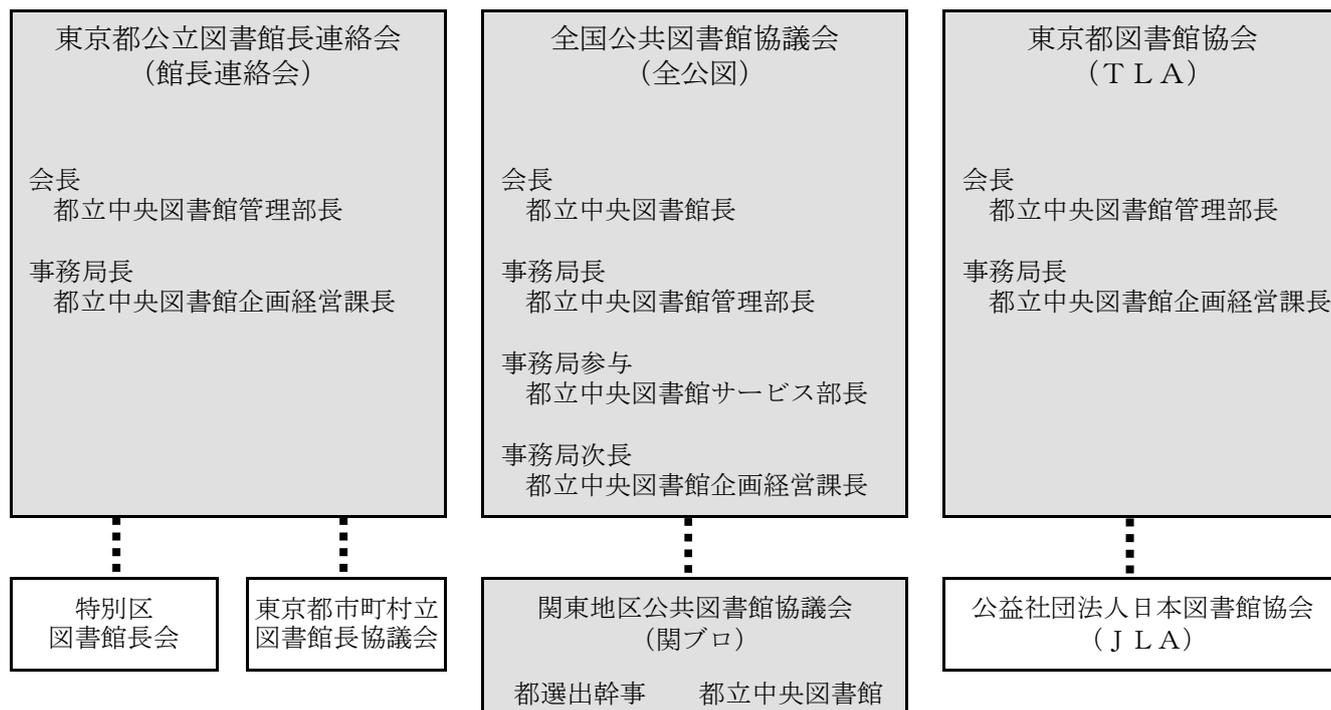
- 昭和 63. 10 都立図書館電算システム逐次刊行物（年鑑・年報）稼動
- 平成 元. 6 都立図書館電算システム洋書稼動
- 10 都立図書館電算システム逐次刊行物（新聞・雑誌）稼動
 2. 3 「新日比谷図書館の機能について」（都立図書館協議会中間報告）
 - 10 「新日比谷図書館の機能について」（都立図書館協議会答申）
 4. 4 CD-ROMによる東京都図書館情報ネットワーク稼動
 - 12 「都立図書館の資料の保存機能について」（都立図書館協議会意見）
 7. 3 「都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について」（第17期東京都立図書館協議会意見書）
 9. 3 「新日比谷図書館基本構想」（教育庁新日比谷図書館基本構想検討委員会）
「21世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造・生涯学習社会における都立図書館の役割」（第18期東京都立図書館協議会答申）
 10. 3 「東京都立図書館中期運営計画」策定（都立3館）
 - 7 都立図書館処務規則全部改正
 11. 10 「児童・青少年に対して図書館は何かができるか？—社会問題への図書館の関わり方」（第19期東京都立図書館協議会提言）
 - 11 「資料保存計画」策定（東京都立図書館資料保存委員会）
東京都教育委員会「とうきょう親子ふれあいキャンペーン」＝図書館活用講座実施
 - 12 新電算システム移行に伴い目録カードの廃止、電算工事開始
 12. 2 都立図書館新電算システム稼動
都立図書館ホームページ開設
 - 3 「東京都立図書館情報サービス規程」制定
 13. 4 政策立案支援サービスを全庁対象に実施
 - 8 都立日比谷図書館耐震補強工事のため休館（平成14年2月まで、休館中に児童青少年資料を多摩図書館に移送）
 - 10 「高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方—ITを活用したサービスの革新」（第20期東京都立図書館協議会提言）
 - 11 都立図書館事務事業評価結果が出る。
 14. 1 「今後の都立図書館のあり方～社会経済の変化に対応した新たな都民サービスの向上を目指して～」
（都立図書館あり方検討委員会報告）
 - 3 「東京都立図書館館則」「東京都立図書館処務規則」「東京都立図書館係設置に関する規定」の一部改正
 - 4 都立中央・日比谷・多摩図書館の3館を組織統合し都立図書館として一体化運営を図る。
都立中央・多摩図書館入館年齢制限を撤廃
 - 5 都立多摩図書館、児童・青少年サービスを開始
 15. 3 「子ども読書活動推進をはかるために都立図書館は何をなすべきか」（第21期東京都立図書館協議会提言1）
 - 6 都立中央図書館「ビジネス支援サービス」を開始（平成19年度から、「ビジネス情報サービス」に変更）
 16. 2 「都内公共図書館発展のための連携協力について」（第21期東京都立図書館協議会提言2）
 - 4 都立中央・多摩図書館開館時間を延長
 - 6 都立中央図書館「医療情報サービス」を開始
 17. 8 「都立図書館改革の基本的方向」（第二次都立図書館あり方検討委員会報告）
 18. 3 「調査研究図書館におけるサービスのあり方について」（第22期東京都立図書館協議会答申）
 - 7 都立中央図書館重点的情報サービス「法律情報サービス」を開始
 - 8 東京都教育委員会「都立図書館改革の具体的方策」を公表
 19. 3 東京関係資料の横断検索システム「東京資料サーチ」がスタート
 - 7 都立中央図書館 新聞記事横断検索データベース（G-Search サービス）の有償提供の試行開始
 - 9 都立図書館メールマガジン「都立図書館通信」の配信開始
 20. 4 ワンストップサービスに向けて、都立中央図書館情報サービス課の8係を6係に組織改正
 - 10 東京都教育委員会と千代田区教育委員会、都立日比谷図書館の千代田区移管に向けた基本的な方向性について合意
 - 11 都立図書館創立100周年＜明治41年（1908）年11月16日、東京市立日比谷図書館として開館＞

- 「都立図書館のサービスと図書館改革の評価について」(第23期東京都立図書館協議会提言)
 都立多摩図書館 都市・東京資料の集中化の方針に基づき、多摩地域資料を都立中央図書館に移管
- 平成 20. 12 「東京都立図書館条例」、「東京都立図書館館則」、「東京都立図書館処務規則」の一部改正
21. 1 都立中央図書館リニューアルオープン 記念企画展及び講演会等を実施
 都立中央図書館「都市・東京情報サービス」を開始
- 3 都立日比谷図書館は、千代田区へ移管することに伴い、3月31日まで開館し、4月1日から移管準備作業のため休館(7月1日移管)
- 4 都立中央図書館 複写受付時間の変更(午前10時から開始)
- 5 都立多摩図書館リニューアルオープン、「東京マガジンバンク」開設 記念展示及び講演会等を実施
- 7 都立日比谷図書館を千代田区へ移管
- 9 都立多摩図書館 外部倉庫に保管中の資料等の取り寄せサービスを開始
22. 1 「著作権法の一部を改正する法律」(平成22年1月1日)施行に伴い、視覚障害者以外にも、DAISY図書や点字図書の貸出しを開始
 都立中央図書館 文部科学省の呼びかけにより有志図書館で結成した「図書館海援隊」プロジェクトに参加
- 3 「都立図書館視覚障害者等サービス要綱」の改正
 都立図書館ホームページで、資料の閲覧予約(取り置き)サービスを開始
- 8 東京都立図書館資料保存ガイドラインの策定
23. 3 東日本大震災被災地支援のため、サービス対象地域を一時的に拡大(～平成23年12月)
 「デジタル時代の都立図書館像」(第24期東京都立図書館協議会提言)
- 10 ウェブサイト「江戸・東京デジタルミュージアム」を開設
- 11 東京都立図書館 Twitter を開始
- 12 図書館情報システムリニューアル。統合検索システムの導入、登録利用者サービスの開始
 東京都立図書館 Facebook を開始
24. 7 都立中央図書館建物内全面禁煙化
- 10 電子新聞(2タイトル)の閲覧を開始
25. 1 都の施設で初めて新電力の部分導入を実施
- 3 東京都立図書館資料防災マニュアルの作成
 「都民の課題解決に役立つ図書館を目指してーより質の高い図書館サービスの追求ー」(第25期東京都立図書館協議会提言)
- 5 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ(TOKYO アーカイブ)」を開設
- 12 都立中央図書館タブレット端末による電子書籍サービスの試行開始
26. 1 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の館内利用開始
- 2 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ(TOKYO アーカイブ)」機能追加
27. 2 都立国際高等学校の国際バカロレア認定取得に向けた図書室改善整備のため、都立中央図書館から職員を派遣
- 3 「読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について」(第26期東京都立図書館協議会提言)
- 4 「都立多摩図書館の移転について」(施設概要、サービス展開予定等)を教育委員会に報告
 「今後3か年の重点目標」を設定
- 7 都立中央図書館 カフェコーナーを1階にオープン
28. 2 「都立図書館改善の方策」を策定
- 8 都立多摩図書館建設工事竣工
- 10 「東京都立図書館条例」、「東京都立図書館館則」、「東京都立図書館処務規則」の一部改正
- 12 都立中央図書館2020年に向けた新展示コーナー(オリンピック・パラリンピック、伝統・文化、Books on Japan)を開設
29. 1 都立多摩図書館移転開館(開館時間の延長、セミナールームの貸出開始)
- 2 「世界都市・東京を支える情報センターを目指して-2020年とその先に向けた提言-」(第27期東京都立図書館協議会提言)
- 10 「東京都立図書館の入館時における持込み手荷物の制限の緩和について」試行的実施
- 11 「東京都立図書館アドバイザー」の委嘱開始

- 都立中央図書館 「キッズルーム (授乳室付き)」 を開設
 都立中央図書館 カザフスタン共和国との図書国際交換に伴う贈呈式を実施
- 平成 30. 1 「都立図書館実行プラン to 2020」 策定
 2 都立中央図書館 謎解きイベント「Live-Rally」を初開催
 3 都立中央図書館 「調査研究ルーム」・「グリーンビューシート」を開設
 6 都立中央図書館 5階の「音声映像資料室」を「音声・映像コーナー」にリニューアルして1階に移転
 9 都立中央図書館 「交流ルーム」、「コミックコーナー」を開設
 10 「Old meets New 東京 150 年」事業「東京 150 年祭」(浜離宮恩賜庭園) に出展
 31. 2 平成 30 年度都立図書館のニーズに関する実態調査報告書を発行
 31. 3 「これからの都立図書館に必要な利用環境について」(第 28 期東京都立図書館協議会提言)
- 令和 元. 7 都立図書館ホームページに「平成 30 年度都立図書館のニーズに関する実態調査報告書」と「平成 30 年度都立図書館利用実態・満足度調査」報告書を掲載
 10 令和元年台風第 19 号の関東地方上陸により、10 月 12・13 日を臨時休館とする。
2. 2～5. 5 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策下における館運営については、『事業概要 令和 5 年度版』p. 28～30「都立図書館 新型コロナウイルス感染症対策の経緯 令和 2 年 2 月～令和 5 年 5 月」を参照
3. 2 「都立図書館実行プラン 2021-2023 AI 時代の都立図書館へのファーストステップ」策定
 3. 3 「都立図書館在り方検討委員会 最終報告～AI 時代の都立図書館像～」
 「都立図書館ならではのサービスを考える一保有する情報資源の一層の活用を目指して」(第 29 期東京都立図書館協議会提言)
3. 11～4. 1 都立中央図書館 工事等に伴う来館サービスの休止 (11/11～1/6)
 (11/15～12/28 は非来館サービス等を実施)
4. 1 都立中央図書館 1 階中央ホールの展示コーナーを「話題の洋書コーナー」にリニューアル
 都立中央図書館 Tokyo2020 アーカイブ資産展示コーナーを開設
 チャットボットサービス「都立図書館利用案内 Q&A」を開始
 動画「6 秒でわかる都立図書館」を東京動画で公開
4. 6 来館による複写サービス窓口での交通系電子マネーの取扱いを開始
4. 8～5. 3 都立中央図書館 天井改修工事等に伴う来館サービスの縮小 (8/5～3/15)
 (12/19～1/11 はシステム更新のため、2/21～3/14 は閲覧室等の復旧のため、臨時休館)
4. 9～5. 3 都立多摩図書館 空調設備改修工事等に伴う来館サービスの縮小 (10/1～3/19)
 (12/19～1/11 はシステム更新のため、2/21～3/19 は閲覧室等の復旧のため、臨時休館)
4. 10 「東京 2020 アーカイブ資産 (一般公開文書)」の閲覧を開始
4. 11 「東京都立図書館デジタルアーカイブ (TOKYO アーカイブ)」と「ジャパンサーチ (JAPAN SEARCH)」の連携を開始
5. 1 データベース/調査研究ルームの利用予約システムを導入
 大学図書館への貸出事業を実施
5. 2 東京都立図書館 Twitter を東京都カテゴリー別公式アカウント「東京都 子供・教育」に統合
5. 3 東京都立図書館ディスカバリーサービスを導入
 「都立図書館の DX とその先にあるサービス」(第 30 期東京都立図書館協議会提言)
 やさしい日本語版ホームページを公開
5. 4 尾木直樹氏が都立図書館名誉館長に就任
5. 6 館内デジタルサイネージでバーチャル書架「Digital BookShelf」を公開
5. 12 インターネットでバーチャル書架「Digital BookShelf」を公開
6. 3 やさしい日本語版の利用案内を発行
6. 3 所蔵資料紹介型 AI チャットボット「AI ChatShelf」の試行提供を開始
6. 11 アレクサンドリア図書館 (エジプト) と協定を締結
7. 3 「都立図書館における DX の推進をめぐる課題と解決の方向性」(第 31 期東京都立図書館協議会提言)
7. 3 所蔵資料紹介型 AI チャットボット「AI ChatShelf」の本格稼働、オペレーター (司書) によるチャット開始

3 図書館関係団体・組織一覧

(令和7年4月1日現在)



(1) 東京都公立図書館長連絡会（館長連絡会）

都内公立図書館相互の連絡を密にし、都内における図書館事業の発展のため、必要な連絡、調整及び情報交換を行うことを目的に、東京都公立図書館長連絡会設置要綱（17中図管企第74号）により、平成17年6月に設置された。当館管理部長及び各区市町村の中心館長をもって組織され、会長には、当館管理部長、副会長には、特別区図書館長会幹事長及び東京都市町村立図書館長協議会会長が充てられている。

(2) 全国公共図書館協議会（全公図）

全国の公共図書館相互の連絡を密にし、図書館に関する調査研究を行い、図書館の発展を図ることを目的に、昭和45年6月25日に設置された。会長、副会長は、理事の互選として総会において承認されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(3) 東京都図書館協会（TLA）

都内の図書館及び類縁機関並びに、これらに関係する者の連絡を図り、図書館事業の発展向上と会員相互の交流を深めることを目的に、昭和24年7月に設置された。会長等役員は、総会において選出されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(4) 関東地区公共図書館協議会（関プロ）

関東地区内の公共図書館の連絡を密にし、図書館事業を推進することを目的に、昭和29年4月に規約が制定された。当館は、役員（都選出幹事）として参画している。

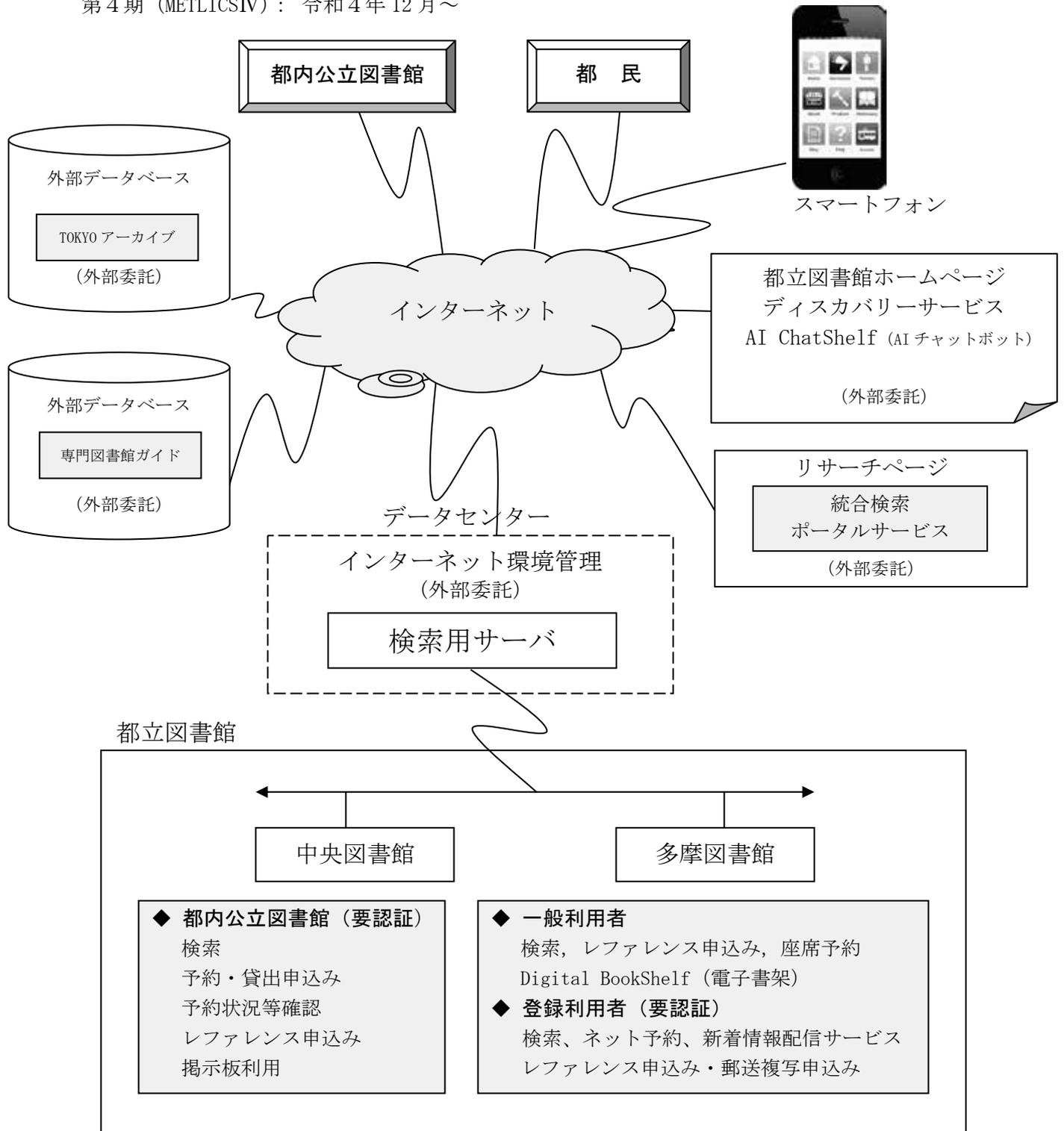
4 東京都立図書館ネットワーク概念図

第1期 (METLICS I) : 昭和63年 3月～

第2期 (METLICS II) : 平成12年 2月～ 平成17年6月に機器更新

第3期 (METLICS III) : 平成23年12月～ 平成28年12月に機器更新

第4期 (METLICS IV) : 令和4年12月～



Web 方式のシステム

- ・ サーバ : 5台
- ・ クライアント : 206台
- 業務用 : 142台 (中央 107台、多摩 35台)
- 利用者用 : 64台 (中央 45台、多摩 19台)

5 東京都立図書館シンボルマーク

都立図書館の広報戦略の一環として、平成 22 年度に、都立図書館シンボルマーク作成のために、都立高等学校の生徒を対象としてデザインの募集を行った。70 名の生徒から 250 点の提案を受け、選考によりシンボルマークを決定した。

以下の 4 種類を広報活動等に活用している。

<p>共通 シンボルマーク</p>		<p>中央図書館・多摩図書館の両館にまたがる事業で使用</p>
<p>中央図書館 シンボルマーク</p>		<p>中央図書館が実施する事業で使用</p>
<p>多摩図書館 シンボルマーク 1</p>		<p>多摩図書館が実施する事業で使用 (ただし、児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業を除く。)</p>
<p>多摩図書館 シンボルマーク 2</p>		<p>多摩図書館の児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業で使用</p>

6 ホームページ及びソーシャルメディア

東京都立図書館ホームページ

<https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/>



携帯電話等からのアクセス

- ホームページの携帯用サイト

https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/feature_phone/

- スマートフォンからの蔵書検索

<https://catalog.library.metro.tokyo.lg.jp/winj/sp/top.do>

東京都立図書館 Facebook

<https://www.facebook.com/tmlibrary>

メールマガジン「都立図書館通信」

ホームページからご登録ください。

7 フロア概要

(1) 中央図書館

中央図書館は、有栖川宮記念公園の高台にあります。5階建ての図書館は、銀杏、メタセコイヤ、樺、桜などたくさんの樹木に囲まれ、四季折々に落ち着いた佇まいを見せています。

1階

○ 利用者玄関ホール

受付カウンターで受け取る「入館証」は、書庫内資料やインターネットパソコン等の利用に用います。

○ 中央ホール

＊総合案内・相談カウンター

司書職員が資料の探し方や調べ方などの相談に応じます。

＊資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の出納を行います。

＊複写受付カウンター

＊話題の洋書コーナー

日本の伝統・文化や観光情報を紹介する洋書「Books on Japan（日本に関する洋書）」のほか、各分野の新作洋書、書評誌等で取り上げられた海外の「話題の本」、洋雑誌などを集めて、タイムリーに提供しています。

○ 重点的情報コーナー

＊ビジネス情報コーナー

ビジネスに役立つ企業情報・業界情報等を中心に、資格取得や就職活動に役立つ資料も備えています。

＊法律情報コーナー

法律関係の基本図書や、相続・遺言、交通事故等の身近な法律テーマに対応した資料を備えています。

＊健康・医療情報コーナー

病気や薬、病院情報など、健康・医療について調べたいときに役立つ資料を備えています。また、介護を始める時に読む本、介護技術の本、予防の本、制度・施設の本など約200冊を置く「介護応援コーナー」を設置しています。

＊闘病記文庫

闘病体験記録約920冊を備えています。

○ 新聞閲覧コーナー

全国紙、スポーツ紙、業界紙、各県の地方新聞など、最新の3か月分程度が自由に閲覧できます。新聞縮刷版や官報の一部、和雑誌約20誌も備えています。

過去の新聞（約500紙）や、一般週刊誌以外の雑誌（約4,000誌）、マイクロ資料は、すべて書庫にあります（雑誌は一部、重点的情報コーナーに備えているものがあります）。

○ 都市・東京情報コーナー

東京都の行政資料（都・区市町村発行）及び東京に関する資料を集め提供しています。また、「都市計画」「海外都市」「都市の産業」など、都市に関する資料を10のテーマ別に配置し、「都市」に関する情報を提供しています。



▲中央図書館



▲話題の洋書コーナー



▲都市・東京情報コーナー

開架図書は約 40,000 冊です。東京関係の雑誌約 20 誌、都市に関する雑誌約 35 誌も備えています。
東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で使用された競技用具や記念品などのアーカイブ資産を展示する「東京 2020 アーカイブ資産展示コーナー」があります。

○ **音声・映像コーナー**

図書や雑誌だけでは調査が不十分なものや、十分な理解が得られないものなどを補うために、レコード、コンパクトディスク、録音テープ、レーザーディスク、ビデオテープ、DVD 等、約 18,400 点を所蔵しています（4 席）。

○ **カフェコーナー**

緑に囲まれながら、休息のひと時をお楽しみいただけます。

2 階

○ **社会・自然科学系 資料・閲覧室**

情報科学、政治、経済、財政、統計、社会学、教育、自然科学、工学、農林水産業、商業、交通、通信等の図書約 11 万冊を開架しています。また、JIS（日本産業規格）、JAS（日本農林規格）、ISO（国際規格）、重要文化財等の修理工事報告書約 1,500 冊を備えています。

3 階

○ **人文科学系 資料・閲覧室**

図書館学、哲学、歴史、地理、風俗習慣・民俗・民族、芸術、スポーツ、語学、文学等の図書約 21 万冊を開架しています。全国でも有数の「地方史コーナー」では、県史・市町村史約 3 万冊を自由に閲覧できます。美術資料を集めた一角では、約 1 万冊の大型美術書をゆったり楽しむことができます。

「日本語学習コーナー」では、約 400 冊の日本語学習用資料を言語別・テーマ別に展示しています。

また、人名事典・名簿・肖像などの人物に関する情報や、様々な分野の参考図書と新刊図書を中心とする約 12,000 冊の中国語資料や韓国・朝鮮語資料があります。

○ **視覚障害者サービス室**

視覚障害者等に対して、対面音訳、録音図書の製作・貸出、点字図書の製作・貸出を行っています。

対面音訳室は 4 室あり、録音図書（デージー図書を含む）6,290 点、点字図書 762 点、点字雑誌 10 種、録音雑誌 21 種等の資料が利用できます。

また、利用者自身が音の出るパソコンを使って調べものをすることもできます。

4 階

○ **閲覧室**

ほぼ全席にパソコン用の電源があります。

○ **企画展示室**

東京や都立図書館の魅力を発信するテーマを設けて、大型の企画展示をタイムリーに開催しています。

○ **グループ閲覧室**

図書館の資料を活用しながら、グループでの学習・調査研究活動に利用できます。

○ **多目的ホール**

図書館関係の各種研究大会、会議、講演会等に使用されます。



▲企画展示室

5 階

○ **閲覧室**

静かな環境で調べものや読書をするための閲覧室で、パソコンの持ち込みはできません。

○ **グリーンビューシート**

有栖川宮記念公園の樹木を一望しながら、ゆったりとくつろぎながらリフレッシュできる空間です（12 席）。

○ 特別文庫室

東京誌料、加賀文庫、市村文庫、諸橋文庫等の資料約 243,000 点（冊）をすべて書庫に保管し、資料請求票に基づき利用に供しています。

また、資料のデジタル化事業を進め、保存と有効活用を図るとともに、ホームページの「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」で一部を公開しています。

○ 調査研究ルーム

全席パーテーション付きの電源のある個人席です。また、豊富な資料を活用して、従来にはないセカンドオフィスや書斎として利用できます（19 席）。

○ 交流ルーム

図書館の資料を利用し、グループで自由に議論しながらの調査研究や異業種交流等の場として利用できる閲覧室です。机の配置なども自由に変更でき、学校活動におけるアクティブラーニングなどにも活用できます（36 席）。

○ キッズルーム（授乳室付き）

お子様連れの方々も気兼ねなく図書館をご利用いただけるよう、授乳用の椅子やおむつ交換台も用意しています。

○ カフェテリア

東京タワーや六本木のビル群が一望でき、夜景も楽しめます。食事をしながらくつろいでいただけます。

＝各階＝

◆ 蔵書検索パソコン・オンラインデータベース用パソコン

各階に蔵書検索パソコン、1 階にはオンラインデータベース用、インターネット用パソコンを設置しており、図書と併せて利用することができます。

◆ 新着図書コーナー

1 階から 3 階の入口付近に、新着図書を展示しています。

◆ パソコン席

1 階から 4 階の閲覧席、5 階調査研究ルーム・交流ルームで、持参したパソコンを利用できます。

◆ 無料 Wi-Fi（TOKYO FREE Wi-Fi）

1 階から 4 階の閲覧室、5 階カフェテリア・調査研究ルーム・交流ルームで無料 Wi-Fi（TOKYO FREE Wi-Fi）が利用できます。

◆ 案内ホットライン

3 階には、案内ホットライン専用電話が設置してあり、司書職員を呼んで相談することができます。

◆ バリアフリー対応等

- ・ 1 階受付で、車椅子の貸出をしています。
- ・ 1 階新聞閲覧コーナー、2 階資料・閲覧室、3 階視覚障害者サービス室に、拡大読書器があります。
- ・ 1 階と 2 階の多目的トイレには、おむつ替え用ベッド、3 階多目的トイレには、オストメイト対応設備があります。
- ・ 1 階と 4 階に AED を設置しています。

【各階の閲覧席数】

〔建物概要〕	
昭和 47 年 3 月	竣工
昭和 48 年 1 月	新築、開館
平成 7 年 7 月～平成 8 年 5 月	施設・設備改修
平成 20 年 5 月～12 月	施設・設備改修
鉄骨鉄筋コンクリート 地上 5 階、地下 2 階	
敷地面積	9,157.21 m ²
延べ床面積	延 23,196.21 m ²
収蔵可能冊数	約 208 万冊（うち、開架約 35 万冊）
閲覧席	932 席（スツール席含め、1,066 席）
敷地内全面禁煙	

1 階	中央ホール	16
	重点的情報コーナー	41
	新聞閲覧コーナー	32
	都市・東京情報コーナー	28
	音声・映像コーナー	4
2 階	資料・閲覧室	198
3 階	資料・閲覧室	276
4 階	閲覧室	164
	グループ閲覧室	24
5 階	閲覧室	72
	グリーンビューシート	12
	特別文庫室	10
	調査研究ルーム	19
	交流ルーム	36

(2) 多摩図書館

多摩図書館は、「森の中の本の森」をコンセプトに、緑豊かな周辺環境との調和と環境への配慮を実現し、平成 29 年 1 月、立川市から国分寺市に移転オープンしました。



▲多摩図書館

○ 総合案内

入館証の受け渡しやセミナールームの予約受付のほか、周辺・都内の観光情報の提供も行っています。

○ 相談カウンター

司書職員が資料の探し方や調べ方などの相談に応じます。

○ 資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の閲覧、返却を受け付けます。

○ 蔵書検索・インターネット

蔵書検索、インターネット閲覧に加え、30 種類以上の各種オンラインデータベースを利用して雑誌記事や論文情報などの検索ができます。

○ 展示エリア・展示ウォール

図書館で所蔵している資料を使い、様々なテーマで企画展示を行います。

○ 新聞エリア

全国紙、地方紙、スポーツ紙、外国語紙など、最新約 1 か月分の新聞 40 紙を配架しています。新聞のマイクロフィルムを見ることもできます。

○ 雑誌エリア



▲雑誌エリア

継続して収集している雑誌約 6,000 タイトルのうち、約 1,500 タイトルの最新約 1 年分を配架しています。このうち、日本語雑誌は 50 のジャンル別に約 1,100 タイトル、外国語雑誌は 12 か国語約 400 タイトルを備えています。

○ 参考図書エリア

辞典、事典類や地図など約 3,400 冊の参考図書を備えています。

○ 青少年エリア

中学生、高校生世代が楽しめる本や、学習に役立つ資料を約 23,700 冊揃えています。職業や進路の参考になる資料を並べたコーナー、様々なテーマによるミニ展示などにより、本を紹介しています。

○ 児童研究書エリア

子供の本について研究した資料や、子供の読書に関する資料が約 10,700 冊あります。

子供の読書活動推進及び学校での読書活動を支援するために、都立多摩図書館が作成した様々なブックリストやガイドブックも紹介しています。



▲青少年エリア



▲こどものへや

○ こどものへや

約 14,100 冊の絵本や文学、知識の本、外国語の児童書などを揃えています。専用のカウンターを設置し、子供の読書に関する相談に対応しています。

○ えほんのこべや

大型絵本、紙芝居もある絵本コーナーです。靴を脱いでコルク床に座りながら、ゆっくりと絵本を楽しむことができます。

○ グループ閲覧室

グループで図書館の資料を使い、学習・調査研究活動ができます。貸切で利用することもできます。

○ 開架書庫

入室して利用できる書庫です。継続して収集している雑誌のうち、約 4,500 タイトルの最新 1 年分があります。

また、新着 1 年分の児童書などを揃えた選書コーナーを設置し、学校や公立図書館での選書を支援しています。さらに、日本語で書かれた絵本約 39,000 冊があります。

○ 対面音訳室

視覚障害者等に対して、対面音訳及び録音資料の製作・貸出を行っています。

○ セミナールーム

研修会や講習会等に利用できる、約 200 名収容可能な有料貸出施設です。

○ カフェスペース

飲食ができるスペースです。ゆっくりと休憩することができます。

◆ パソコン席

閲覧席、カフェスペースで、持参したパソコンを利用できます。

◆ 無料 Wi-Fi (TOKYO FREE Wi-Fi)

閲覧席、カフェスペースで利用できます。

◆ バリアフリー対応等

- ・総合案内で、車椅子の貸出をしています。
- ・「相談カウンター」や「こどものへやカウンター」で、筆談等の対応をします。
- ・「こどものへやカウンター」でベビーカーの貸出しをしています。
- ・オストメイト対応設備があるトイレのほか、親子で利用できるトイレや授乳室があります。
- ・入口に AED を設置しています。

〔建 物 概 要〕

平成 28 年 8 月 竣工
 平成 29 年 1 月 移転開館
 鉄骨鉄筋コンクリート 地上 3 階
 敷地面積 7,216.74 m²
 延べ床面積 延 8,982 m²
 収蔵可能冊数 約 285 万冊 (うち、開架 10 万冊)
 閲覧席 227 席
 敷地内全面禁煙

8 案内図

中央図書館

都立図書館の中心館として、豊富な資料で調査研究活動を支援するレファレンスサービスなど、様々な情報サービスを行っている。

資料の個人館外貸出は行っていない。

- 開館時間

月～金曜日	午前10時～午後9時
土・日・祝・休日	午前10時～午後5時30分

 ただし、
 - ・ 特別文庫室 午前10時～午後5時30分

- 休館日
 - ・ 館内整理日 毎月第1木曜日（祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第2木曜日）
 - ・ 設備等の保守点検日 毎月1回
 - ・ 特別整理期間 年間12日以内
 - ・ 年末年始 12月29日～1月3日



中央図書館

〒106-8575 港区南麻布 5-7-13（有栖川宮記念公園内）
電話 03-3442-8451(代)

- 【交通】
- ・ 東京メトロ日比谷線 広尾駅 徒歩8分
 - ・ 東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線 麻布十番駅 徒歩20分
 - ・ 東京メトロ日比谷線・都営地下鉄大江戸線 六本木駅 徒歩20分
 - ・ 都バス 橋86系統 目黒駅前～新橋駅前・東京タワー 愛育クリニック前 徒歩2分
 - ・ 港区コミュニティバス（ちいばす） 麻布西ルート97 愛育クリニック 徒歩2分 101-2 本村小学校入口 徒歩3分

多摩図書館

雑誌、児童・青少年資料の閲覧及び16ミリフィルムの団体貸出などのサービスを行っている。

資料の個人館外貸出は行っていない。

- 開館時間

月～金曜日	午前10時～午後9時
土・日・祝・休日	午前10時～午後5時30分

- 休館日
 - ・ 館内整理日 毎月第1木曜日（祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第2木曜日）
 - ・ 設備等の保守点検日 毎月1回
 - ・ 特別整理期間 年間12日以内
 - ・ 年末年始 12月29日～1月3日



多摩図書館

〒185-8520 国分寺市泉町 2-2-26
電話 042-359-4020

- 【交通】
- ・ JR中央線・武蔵野線 西国分寺駅南口 徒歩7分
 - ・ 京王バス 寺85系統（総合医療センター～国分寺駅南口～小平団地） はずみプラザ前 徒歩5分
 - ・ 国分寺市コミュニティバス（ぶんバス） 万葉・けやきルート、北町ルート、日吉町ルート 国分寺市役所 徒歩3分

事業概要 令和7年度版

登録番号(7)第1号

主要刊行物指定

令和7年7月29日 発行

編集・発行

東京都立中央図書館

〒106-8575 東京都港区南麻布五丁目7番13号

電話 03-3442-8451(代)

印刷会社名

シンソー印刷株式会社

リサイクル適性(B)

この印刷物は、紙へ
リサイクルできます。

